

令和 7 年度

新宿区区民意識調査

(速報版)

令和 7 年 9 月
新 宿 区

目 次

I	調査実施の概要	1
II	調査回答者の属性	6
III	調査結果の分析	15
1	居住意向	15
2	生活における心配事	18
3	区政への関心	21
4	区政情報の入手方法	24
5	区政への要望	25
6	選挙	27
7	基本構想及び総合計画	30
8	区有施設のあり方	37

1 調査目的

新宿区の区政運営の基本となる重要な課題に対する区民の意向・要望及び区民の生活意識等を把握し、今後の区政運営に反映させるための基礎資料とする。

2 調査設計

- (1) 調査地域 新宿区全域
- (2) 調査対象 新宿区在住の満18歳以上の個人
- (3) 標本数 2,500人
- (4) 標本抽出 住民基本台帳からの層化抽出法による無作為抽出
(※住民基本台帳法改正に伴い、平成24年度から外国人住民を含む)
- (5) 調査方法 郵送配布、郵送またはインターネットによる回収
(はがきによる予告・再依頼を各1回)
- (6) 調査期間 令和7年7月7日(月)～7月28日(月)
(※調査期間後に郵送回収した調査票については、できる限り調査に反映させた)
- (7) 調査機関 株式会社アダムスコミュニケーション

3 回収結果

- (1) 標本数 2,500人(日本国籍 2,123人 外国籍 377人)
- (2) 有効回収数 1,048人(日本国籍 982人 外国籍 59人 無回答 7人)
- (3) 有効回収率 41.9%(日本国籍 46.3% 外国籍 15.6%)

◆ 回収方法別内訳

回収方法	有効回収数	構成比
郵送	596人	56.9%
インターネット	452人	43.1%
合計	1,048人	100.0%

4 調査内容

令和7年度 新宿区区民意識調査は、次の項目について調査した。

	<調査項目>	<問番号>
経年調査項目	・居住意向 ・生活における心配事 ・区政への関心 ・区政情報の入手方法 ・区政への要望 ・選挙	(問1～問2-1) (問3) (問4～問4-2) (問5) (問6) (問7～問7-2)
特集調査項目	・基本構想及び総合計画 ・区有施設のあり方	(問8～問12) (問13～問16)

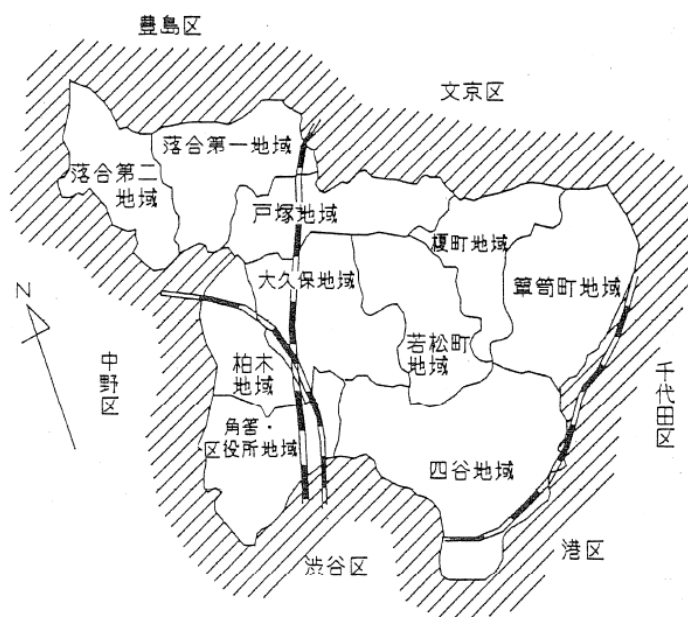
5 居住地域区分

居住地域の集計にあたっては、地域的特性を把握するために、本庁および各特別出張所管轄に基づき新宿区内を10地域に分けた。対象地域の出張所管轄および地域内該当町丁目は次のようになる。

◆ 地域内該当町丁目

地域	該当町丁目	地域	該当町丁目
四谷	四谷一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、四谷本塩町、四谷三栄町、四谷坂町、若葉一丁目、同二丁目、同三丁目、須賀町、左門町、信濃町、南元町、荒木町、舟町、愛住町、大京町、霞ヶ丘町、内藤町、片町、住吉町〔2番(一部)、8番(一部)〕、新宿一丁目、同二丁目、同三丁目〔1番～14番、15番(一部)、16番、17番(一部)、30番、31番(一部)、32番〕同四丁目、新宿五丁目〔1番～12番、13番(一部)、14番(一部)、15番～17番、18番(一部)〕、歌舞伎町一丁目〔1番(一部)〕	戸塚	戸塚町一丁目、戸山三丁目21番、下落合一丁目〔1番(一部)、3番(一部)、7番(一部)、12番、13番、14番(一部)、16番(一部)、17番(一部)〕、西早稲田一丁目、同二丁目〔1番(一部)、3番～21番〕、同三丁目、高田馬場一丁目、同二丁目、同三丁目〔1番～7番、8番(一部)、9番～15番、16番(一部)、18番(一部)、19番～46番〕、同四丁目、百人町三丁目〔29番(一部)〕、同四丁目
笹方町	市谷田町一丁目、同二丁目、同三丁目、市谷本村町、市谷砂土原町一丁目、同二丁目、同三丁目、市谷左内町、市谷加賀町一丁目、同二丁目、市谷甲良町、市谷船河原町、市谷長延寺町、市谷鷹匠町、市谷山伏町、市谷八幡町、神楽坂一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目、同六丁目、細工町、二十騎町、揚場町、津久戸町、東五軒町、西五軒町〔1番(一部)、2番～13番〕、赤城元町、南榎町、袋町、松方町、南町、北町、納戸町、南山伏町、北山伏町、白銀町、下宮比町、矢来町、若宮町、岩戸町、中町、笹方町、横寺町、筑土八幡町、新小川町、神楽河岸	落合第一	上落合一丁目、同二丁目〔1番、2番、3番(一部)、4番～14番、16番(一部)〕、下落合一丁目〔1番(一部)、2番、3番(一部)、4番～6番、7番(一部)、8番～11番、14番(一部)、15番、16番(一部)、17番(一部)〕、同二丁目、同三丁目、同四丁目、中落合一丁目〔1番～15番、17番、20番、21番〕、同二丁目、同三丁目〔1番～13番、14番(一部)、15番、19番(一部)〕、同四丁目〔1番(一部)〕、中井二丁目〔1番～3番〕、高田馬場三丁目〔8番(一部)、16番(一部)、17番、18番(一部)〕
榎町	市谷薬王寺町、市谷柳町、市谷仲之町、赤城下町、天神町、榎町、東榎町、早稲田町、早稲田南町、馬場下町、原町一丁目、同二丁目、同三丁目、河田町〔2番(一部)〕、若松町〔5番(一部)、6番(一部)〕、喜久井町、築地町、弁天町、中里町、山吹町、改代町、水道町、早稲田鶴巻町、西早稲田二丁目〔1番(一部)〕、西五軒町〔1番(一部)〕	落合第二	上落合二丁目〔3番(一部)、15番、16番(一部)、17番～29番〕、同三丁目、西落合一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、中落合一丁目〔16番、18番、19番〕、同三丁目〔14番(一部)、16番～18番、19番(一部)、20番～29番〕、同四丁目〔1番(一部)、2番～32番〕、中井一丁目、同二丁目〔4番～30番〕
若松町	住吉町〔1番、2番(一部)、3番～7番、8番(一部)、9番～15番〕、市谷台町、富久町、河田町〔1番、2番(一部)、3番～11番〕、若松町〔1番～4番、5番(一部)、6番(一部)、7番～38番〕、戸山一丁目、同二丁目、同三丁目〔1番～15番、16番(一部)、17番、19番、20番〕、余丁町〔1番～7番、8番(一部)、9番～14番〕、西早稲田二丁目〔2番〕	柏木	西新宿六丁目〔2番～4番、5番(一部)、6番(一部)、7番～9番、10番(一部)〕、同七丁目〔1番、2番(一部)、7番～23番〕、同八丁目、北新宿一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目
大久保	新宿五丁目〔13番(一部)、14番(一部)、18番(一部)〕、同六丁目、同七丁目、歌舞伎町一丁目〔30番(一部)〕、同二丁目、大久保一丁目、同二丁目、同三丁目、戸山三丁目〔16番(一部)、18番〕、百人町一丁目、同二丁目、同三丁目〔1番～28番、29番(一部)、30番～32番〕、西新宿七丁目〔2番(一部)、3番～6番〕、余丁町〔8番(一部)〕	角筈・区役所	西新宿一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目、同六丁目〔1番、5番(一部)、6番(一部)、10番(一部)、11番～26番〕、同七丁目(一部)、歌舞伎町一丁目〔1番(一部)、2番～30番〕、新宿三丁目〔15番(一部)、17番(一部)、18～29番、31番(一部)、33番～38番〕

◆ 居住地域区分図



6 地域別回収状況

◆ 全数

	母集団	構成比 (%)	標本数	有効回収数	回収率 (%)
全体	319,361	100.0	2,500	1,048	41.9
四谷	36,829	11.5	288	132	45.8
笹塚町	35,221	11.0	276	125	45.3
榎町	33,721	10.6	264	100	37.9
若松町	29,626	9.3	232	93	40.1
大久保	40,028	12.5	313	102	32.6
戸塚	37,539	11.8	294	120	40.8
落合第一	31,884	10.0	250	91	36.4
落合第二	28,972	9.1	227	105	46.3
柏木	29,155	9.1	228	71	31.1
角筈・区役所	16,386	5.1	128	53	41.4
(無回答)				56	

(注) 母集団 (18歳以上の人口) は、令和7年6月1日現在

◆ 外国籍人数 (内数)

	標本数	有効回収数	回収率 (%)
全体	377	59	15.6
四谷	25	8	32.0
笹塚町	19	5	26.3
榎町	37	4	10.8
若松町	33	7	21.2
大久保	86	10	11.6
戸塚	58	6	10.3
落合第一	34	6	17.6
落合第二	19	3	15.8
柏木	45	5	11.1
角筈・区役所	21	1	4.8
(無回答)		4	

7 速報版の見方

- (1) 集計は、小数点第2位を四捨五入してある。したがって、数値の合計が100.0%にならない場合がある。
- (2) 基数となるべき実数（n）は、設問に対する回答者数である。
- (3) 基数が少なく（30以下など）、標本誤差が大きいと考えられる場合には、参考として結果を図示している。
- (4) 回答の比率（%）は、その質問の回答者数を基数として算出している。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100.0%を超えることがある。
- (5) 複数の選択肢をあわせた項目の回答の比率（%）は、その選択肢の選択者数を基数で除して算出している。したがって、各選択肢の比率を足し上げた数値と差が生じることがある。
- (6) 図表の最大値は、領域を明確化するため上限値を100.0%とはしていない場合がある。
- (7) 本文や図表中の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している。
- (8) 調査の結果分析では回答の比率（%）を日本国籍 外国籍 [全体]で示している。

また、国籍の無回答者がいるため、日本国籍と外国籍の合計は基数と合わない場合がある。

- (9) ライフステージの名称及び内容は以下のとおりである。

独身期 …………… 40歳未満の独身者

家族形成期 ……… 子どものいない40歳未満の夫婦、または一番上の子どもが入学前の人

家族成長前期 …… 一番上の子どもが小・中学生の人

家族成長後期 …… 一番上の子どもが高校・大学生の人

家族成熟期 ……… 64歳以下で一番上の子どもが学校を卒業している人

高齢期 …………… 65歳以上の人

その他 …………… 40歳から64歳の独身者、子どものいない40歳から64歳の夫婦など

- (10) この区民意識調査では、統計数値を考察するにあたり、表現を以下のとおりとしている。

例	表現
80.1～80.9%	約8割
81.0～82.9%	8割強
83.0～84.9%	8割台半ば近く
85.0～85.9%	8割台半ば
86.0～87.9%	8割台半ばを超え
88.0～88.9%	9割近く
89.0～89.9%	9割弱

8 考慮すべき標本誤差

この区民意識調査の結果をみる場合に、考慮すべき統計上の誤差がある。考慮すべき誤差（標本誤差）の大きさは、「回答者数（標本数）が少ないほど大きく」、また、「回答比率が50%に近いほど大きく」なる。

下記の表は、今回の調査結果の標本誤差を示したものである。例えば、調査の中のある設問の回答数が1,048であり、Aと回答した人の比率が60%だった場合、その結果を全体（母集団）の結果として考える時に、「大小3.03%の誤差がある、つまりAの回答比率は56.97～63.03%である。」とみることができる。

今回の調査結果の標本誤差は下記のようになる。

回答比率 (p) n	90%または 10%程度	80%または 20%程度	70%または 30%程度	60%または 40%程度	50%程度
1,048	±1.85%	±2.47%	±2.83%	±3.03%	±3.09%
1,000	±1.90%	±2.53%	±2.90%	±3.10%	±3.16%
700	±2.27%	±3.02%	±3.46%	±3.70%	±3.78%
500	±2.68%	±3.58%	±4.10%	±4.38%	±4.47%
300	±3.46%	±4.62%	±5.29%	±5.66%	±5.77%
100	±6.00%	±8.00%	±9.17%	±9.80%	±10.00%

※ 上表は $\frac{N-n}{N-1} \div 1$ として算出している。なお、この表の計算式の信頼度は95%である。

注／この表の見方

標本誤差とは、今回のように全体（母集団）の中から一部を抽出して行う標本調査では、全体を対象に行った調査と比べ、調査結果に差が生じることがあり、その誤差のことをいう。この誤差は、標本の抽出方法や標本数によって異なるが、その誤差を数学的に計算することが可能である。その計算式を今回の調査に当てはめて算出したのが、上記の表である。

標本誤差は次式で得られ、①比率算出の基数（n）、②回答の比率（p）によって誤差幅が異なる。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

{

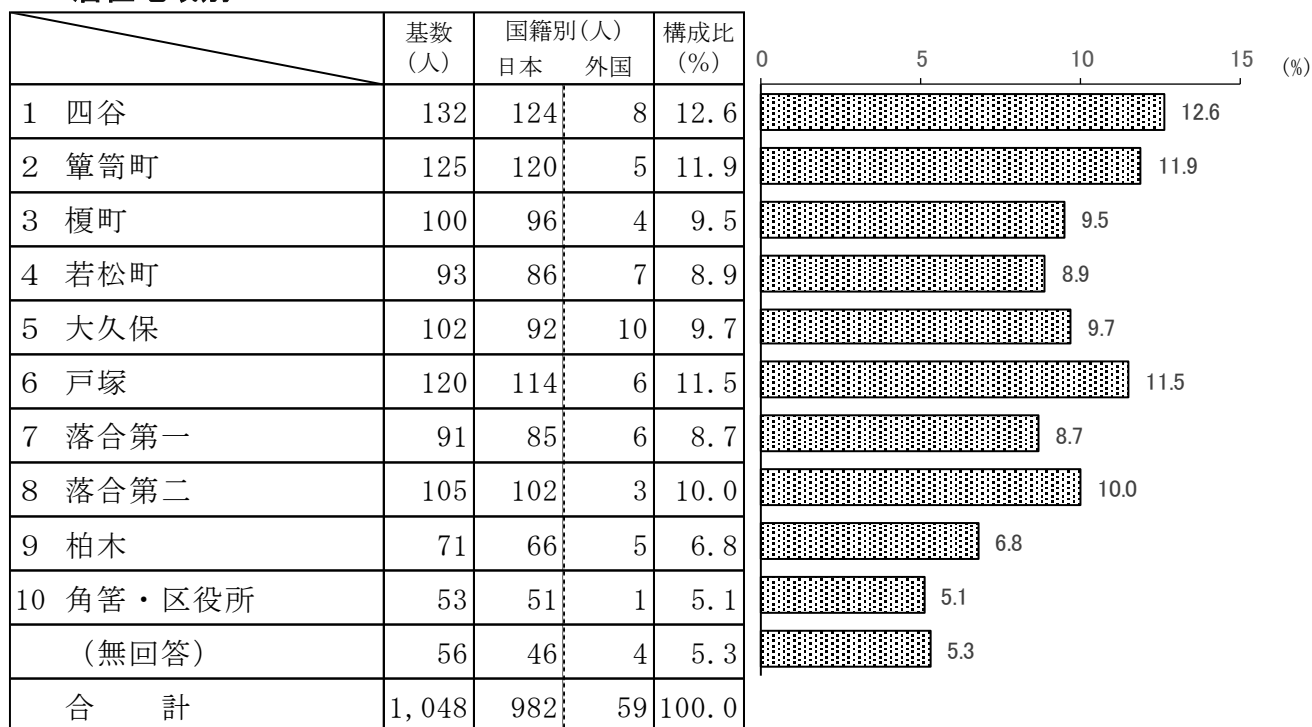
N = 母集団数（新宿区の18歳以上人口）

n = 比率算出の基数（回答者数）

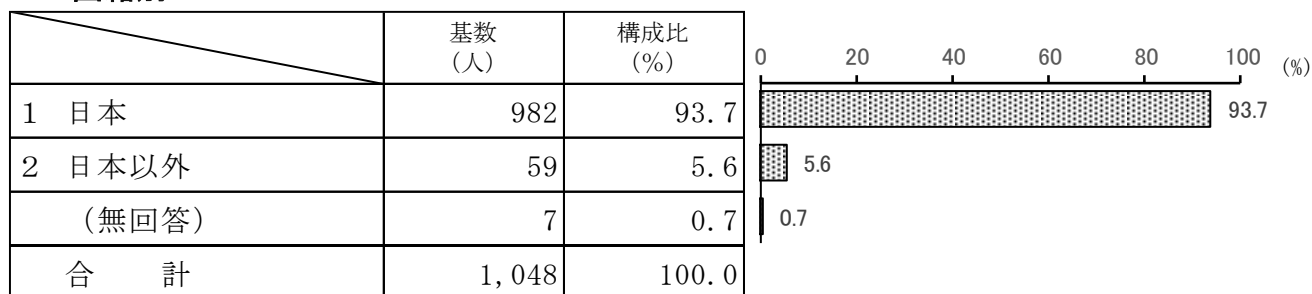
p = 回答の比率

Ⅱ 調査回答者の属性

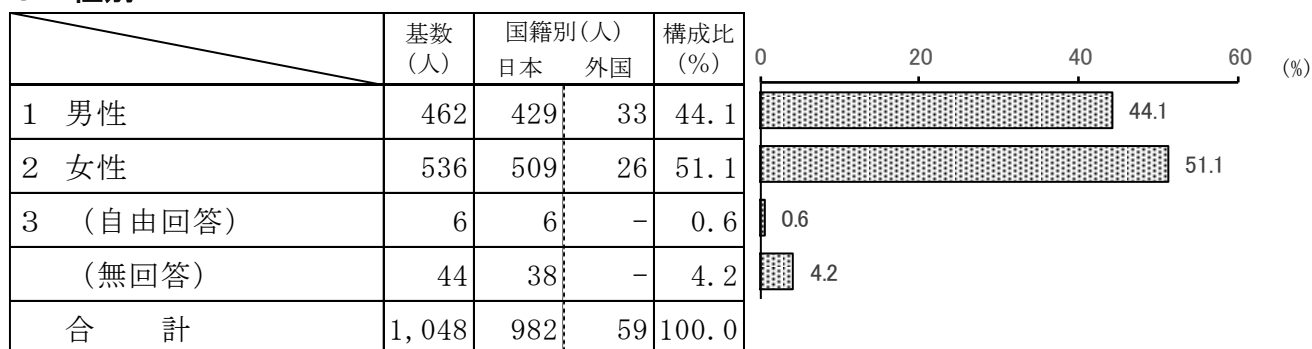
1 居住地域別



2 国籍別



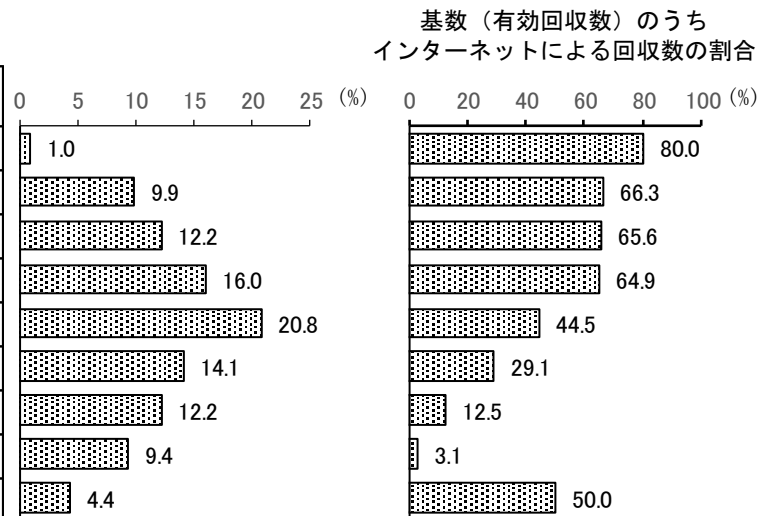
3 性別



4 性別・年代別

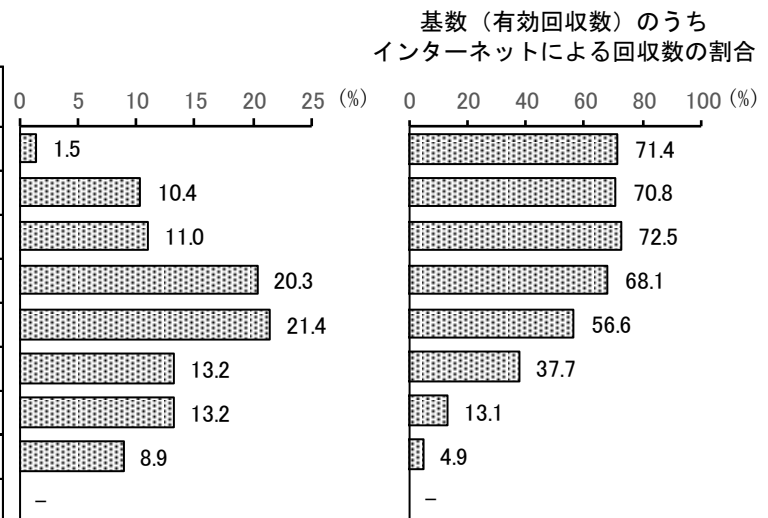
(1) 全体

	基数 (人)	構成比 (%)
1 10歳代	10 (3)	1.0
2 20歳代	104 (15)	9.9
3 30歳代	128 (16)	12.2
4 40歳代	168 (9)	16.0
5 50歳代	218 (6)	20.8
6 60歳代	148 (7)	14.1
7 70歳代	128 (2)	12.2
8 80歳以上	98 (1)	9.4
(無回答)	46 (-)	4.4
合 計	1,048	100.0



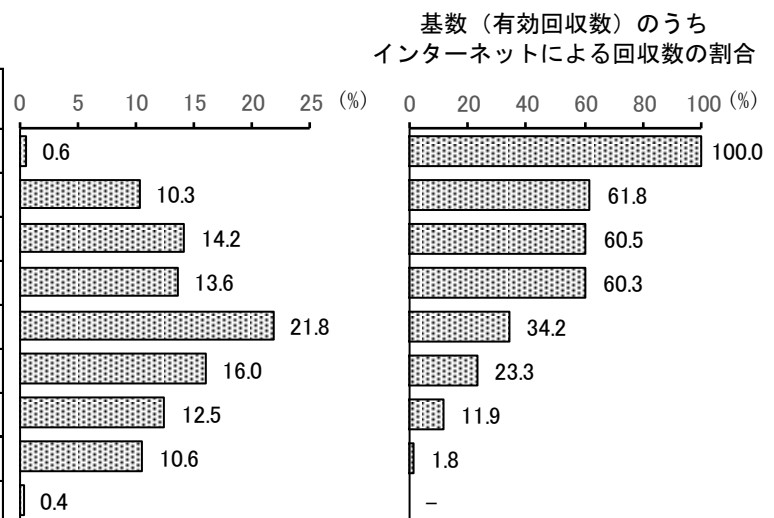
(2) 男性

	基数 (人)	構成比 (%)
1 10歳代	7 (2)	1.5
2 20歳代	48 (8)	10.4
3 30歳代	51 (6)	11.0
4 40歳代	94 (8)	20.3
5 50歳代	99 (4)	21.4
6 60歳代	61 (3)	13.2
7 70歳代	61 (1)	13.2
8 80歳以上	41 (1)	8.9
(無回答)	- (-)	-
合 計	462	100.0



(3) 女性

	基数 (人)	構成比 (%)
1 10歳代	3 (1)	0.6
2 20歳代	55 (7)	10.3
3 30歳代	76 (10)	14.2
4 40歳代	73 (1)	13.6
5 50歳代	117 (2)	21.8
6 60歳代	86 (4)	16.0
7 70歳代	67 (1)	12.5
8 80歳以上	57 (-)	10.6
(無回答)	2 (-)	0.4
合 計	536	100.0

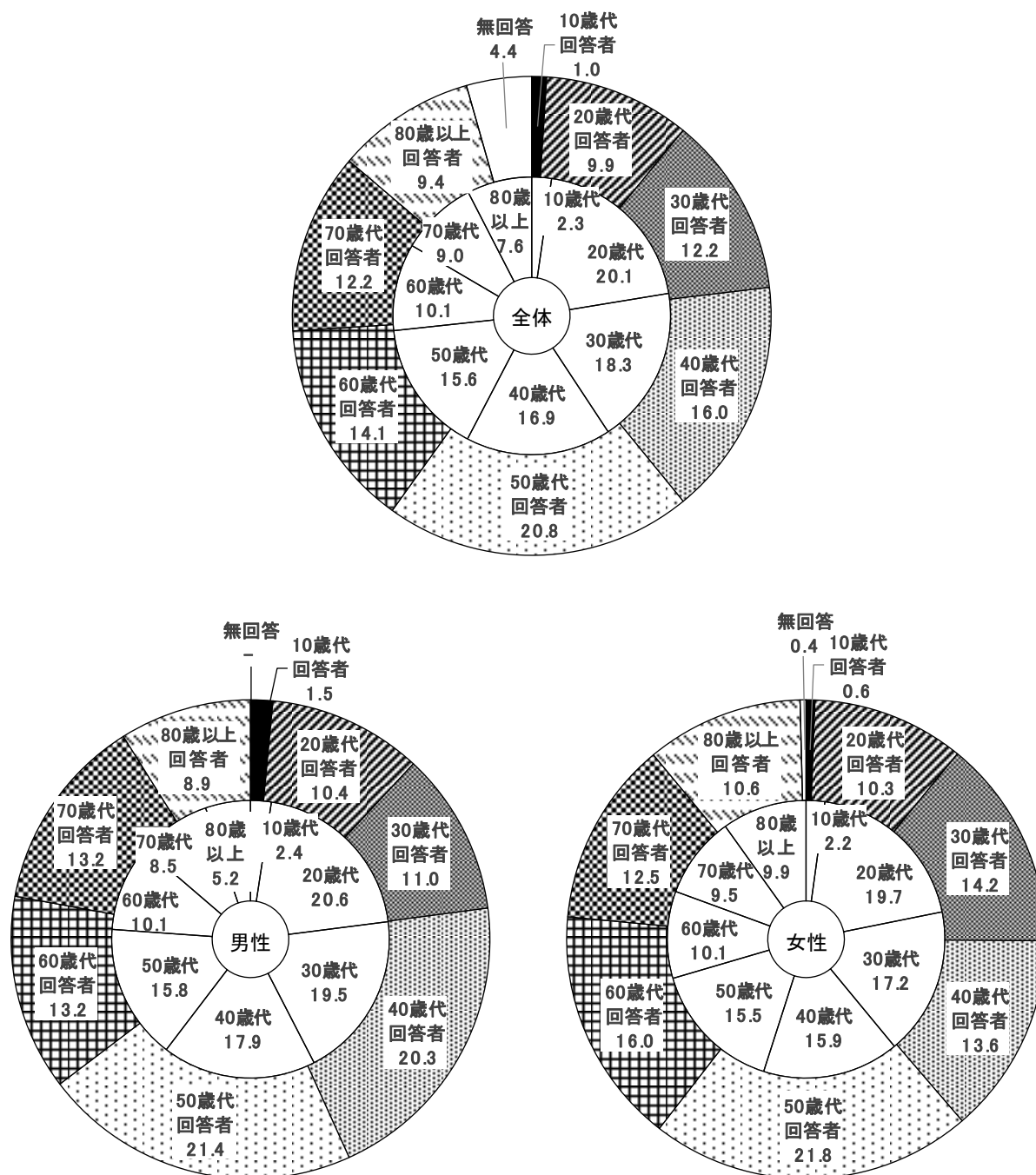


(注) ()の中の数値は外国籍人数を表す。

性別で6人が自由回答を選択している。年代は20代1人、30代1人、40代1人、50代2人、無回答1人。回収方法は50代1人、無回答1人以外の4人がインターネットである。

性別で自由回答が6人、無回答が44人いるため、男女の人数を足し合わせても「全体」の人数と一致しない。

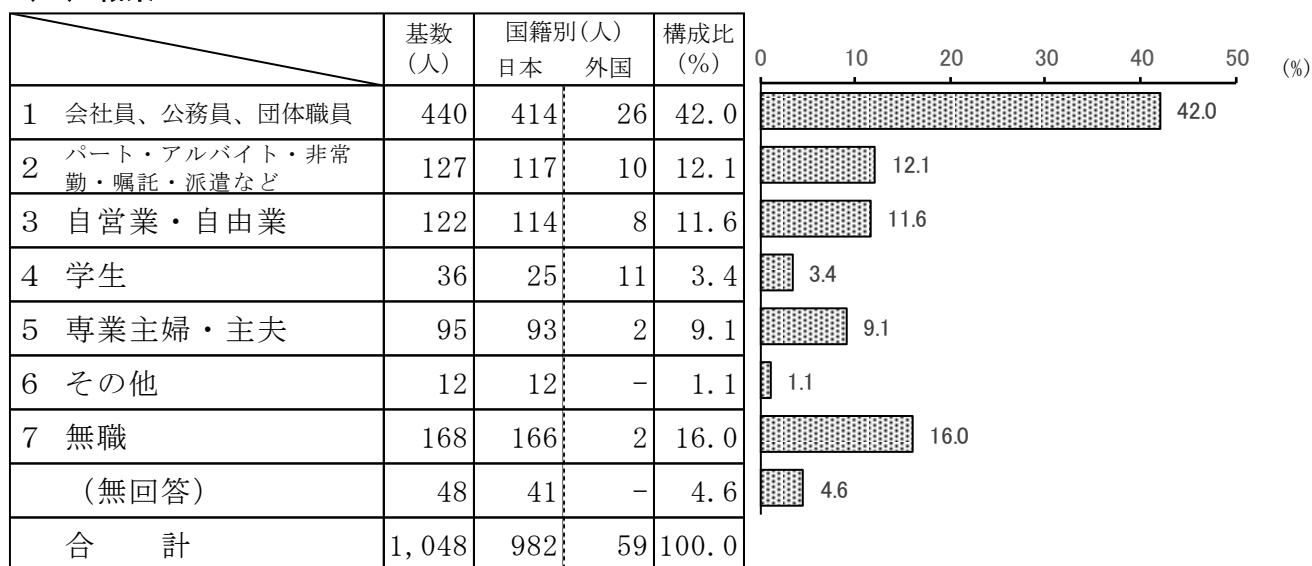
<母集団と調査回答者の構成比>



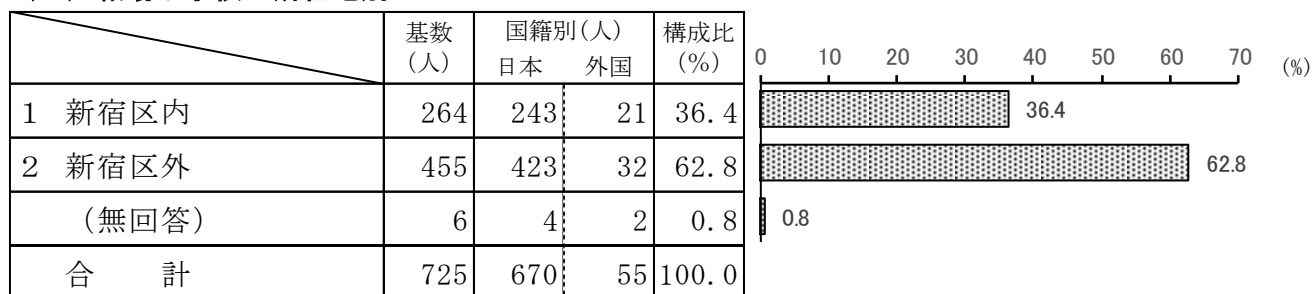
(注) 内円は母集団18歳以上の人口 (N=319,361) の構成比、外円は調査回答者 (n=1,048) の構成比を示している。

5 職業別

(1) 職業

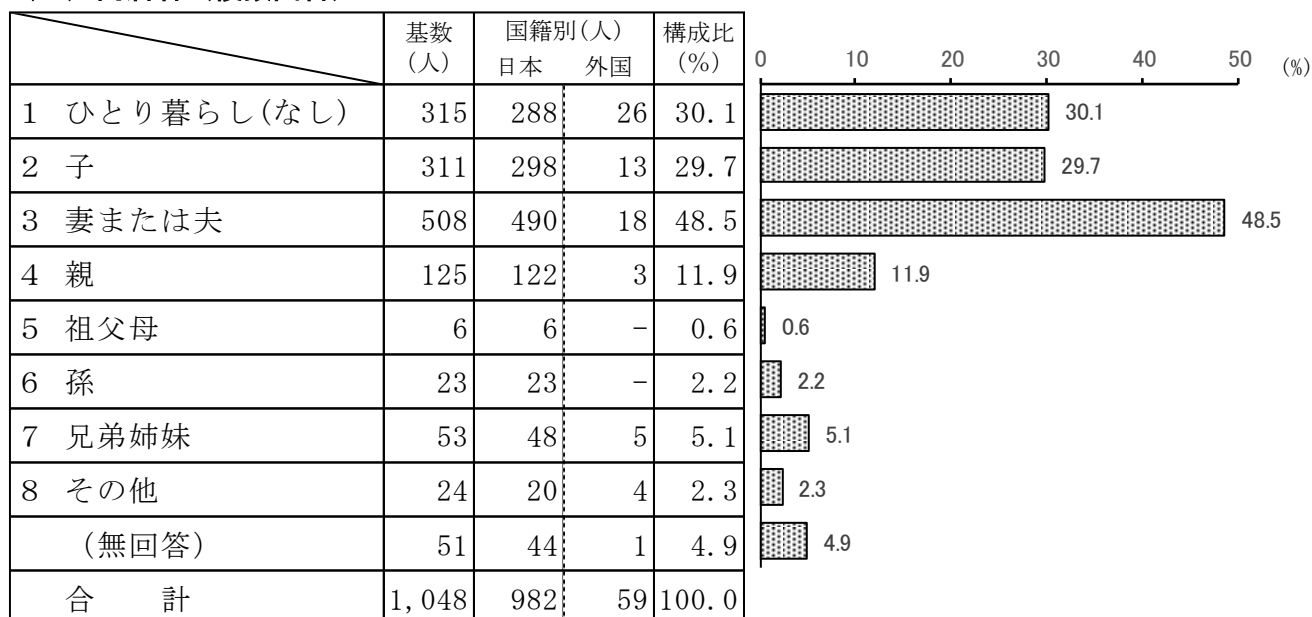


(2) 職場や学校の所在地別

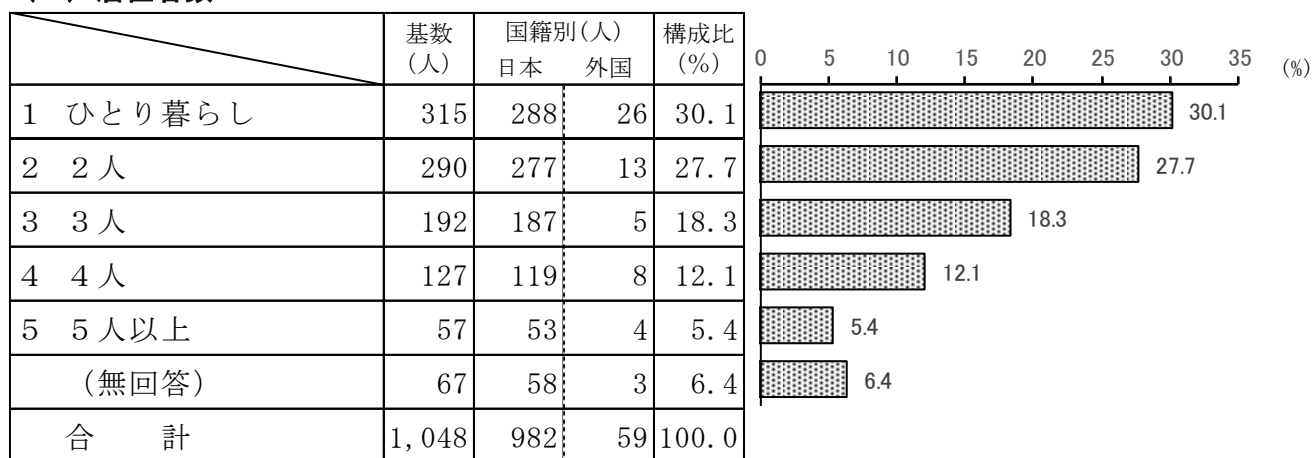


6 家族及びライフステージ別

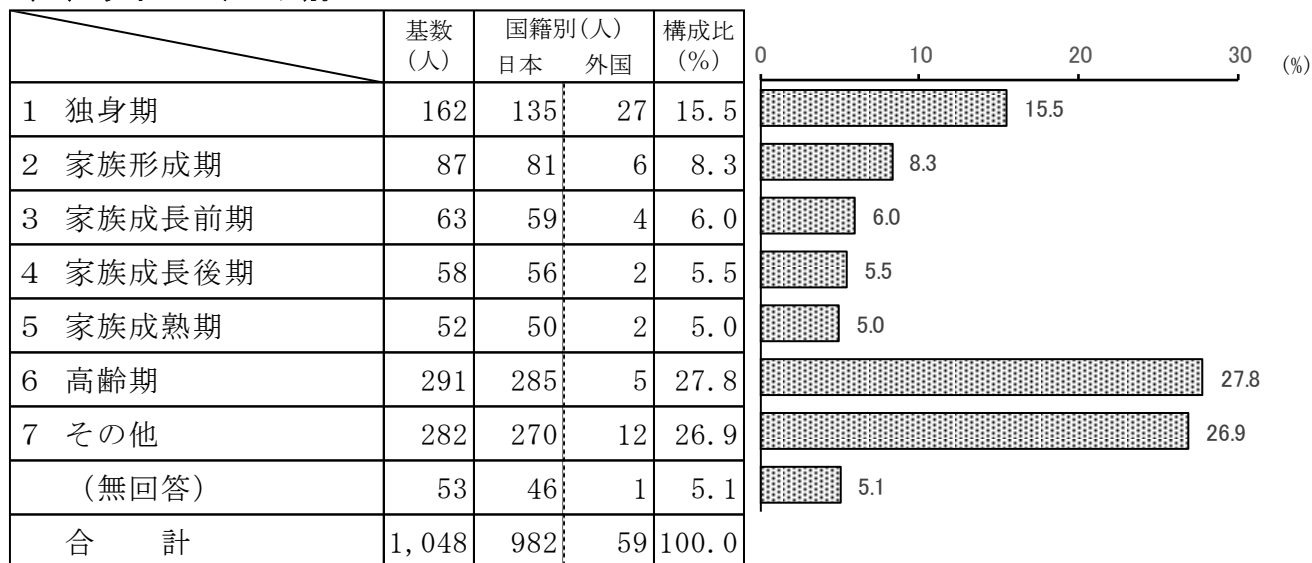
(1) 同居者（複数回答）



(2) 居住者数



(3) ライフステージ別

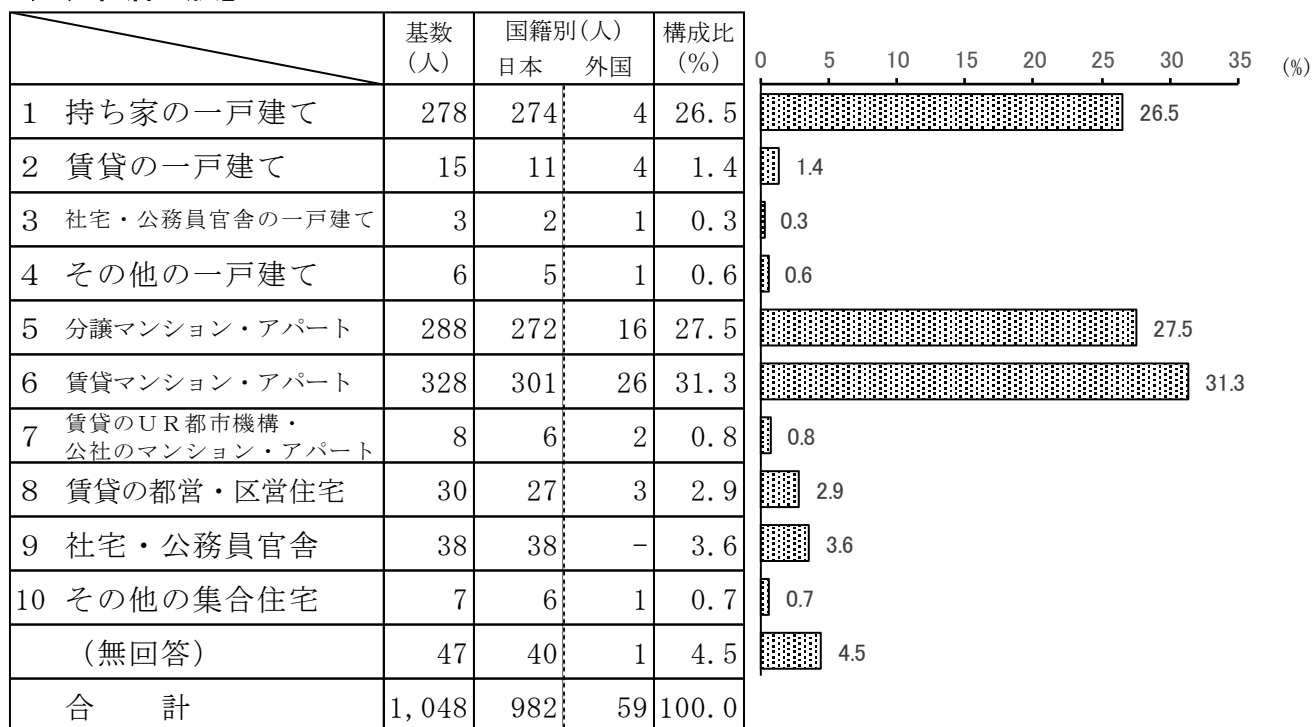


(注) ライフステージの名称、および内容は以下のとおりである。

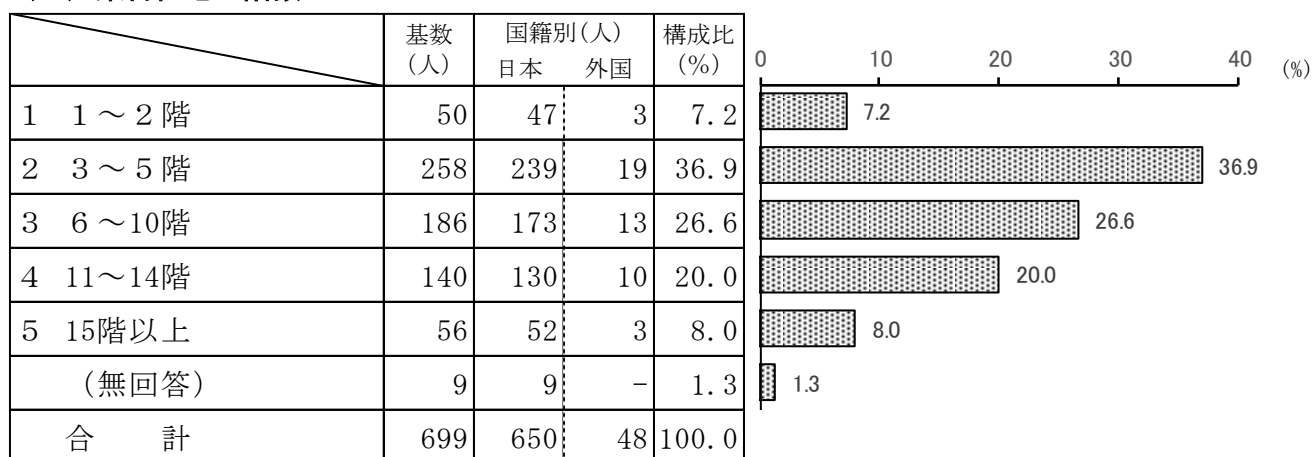
- 独身期----- 40歳未満の独身者
 家族形成期----- 子どものいない40歳未満の夫婦、または一番上の子どもが入学前の人
 家族成長前期----- 一番上の子どもが小・中学生の人
 家族成長後期----- 一番上の子どもが高校・大学生の人
 家族成熟期----- 64歳以下で一番上の子どもが学校を卒業している人
 高齢期----- 65歳以上の人
 その他----- 40歳から64歳の独身者、子どものいない40歳から64歳の夫婦など

7 住居の形態別

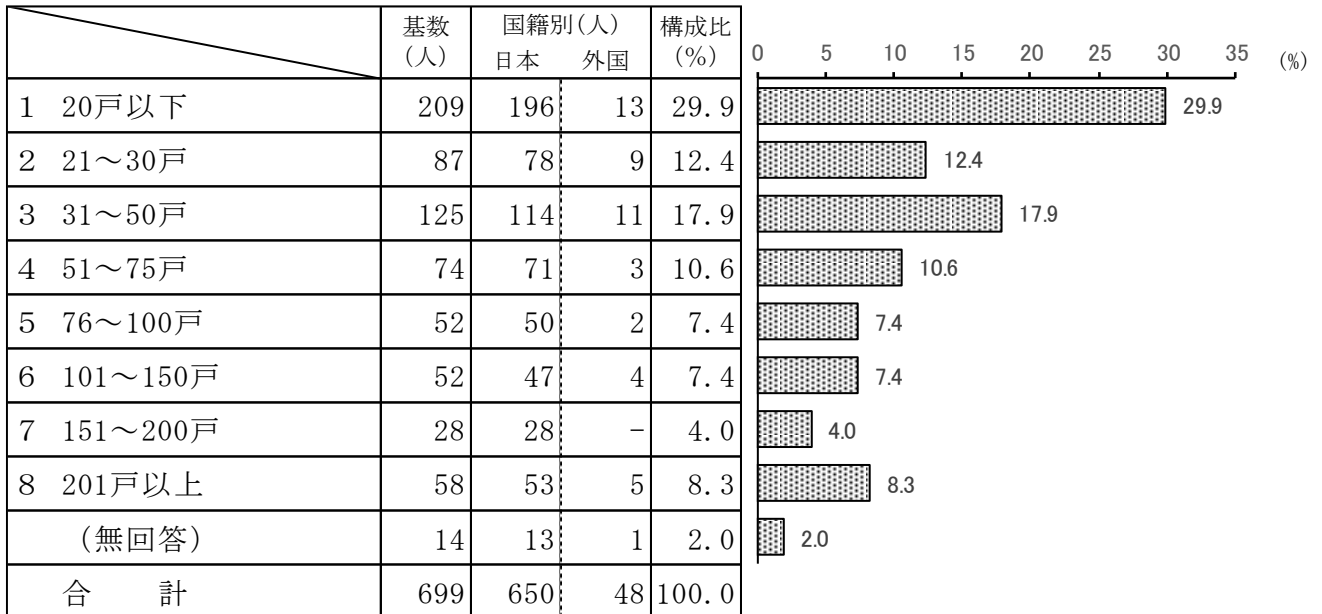
(1) 住居の形態



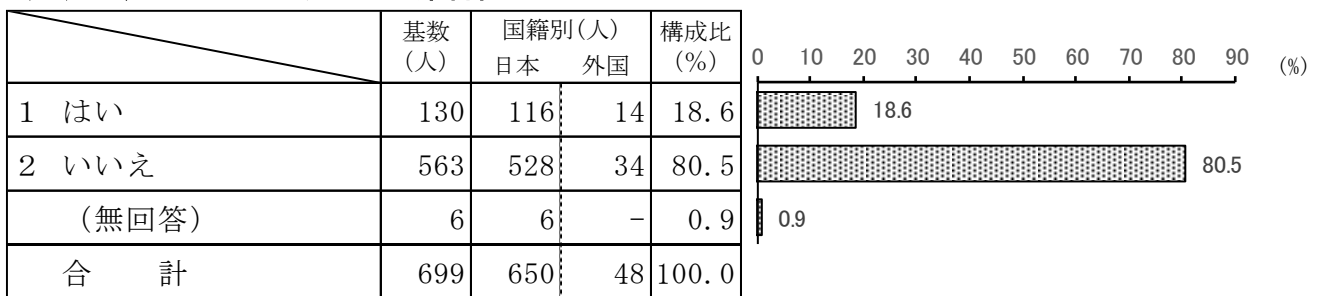
(2) 集合住宅の階数



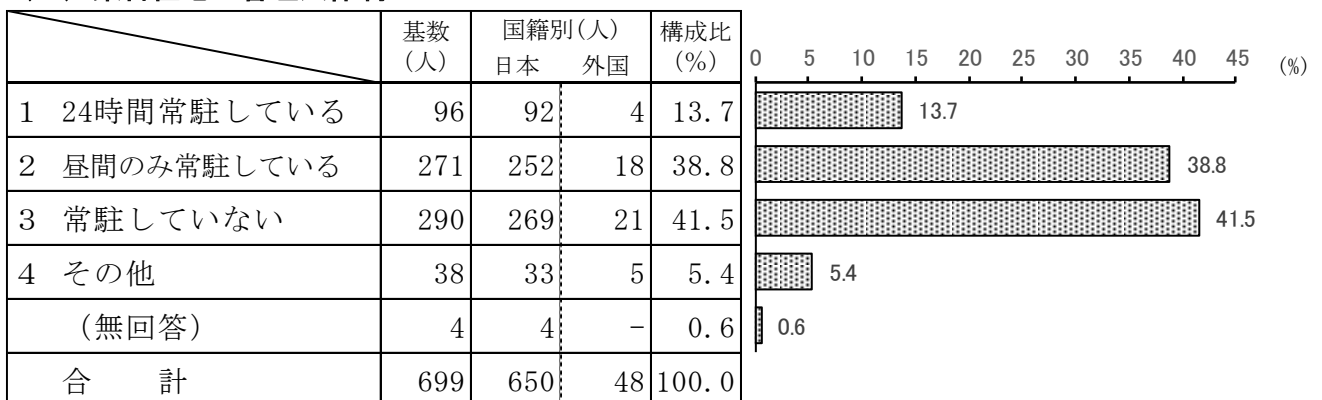
(3) 集合住宅の総戸数



(4) 全戸ワンルームタイプの集合住宅

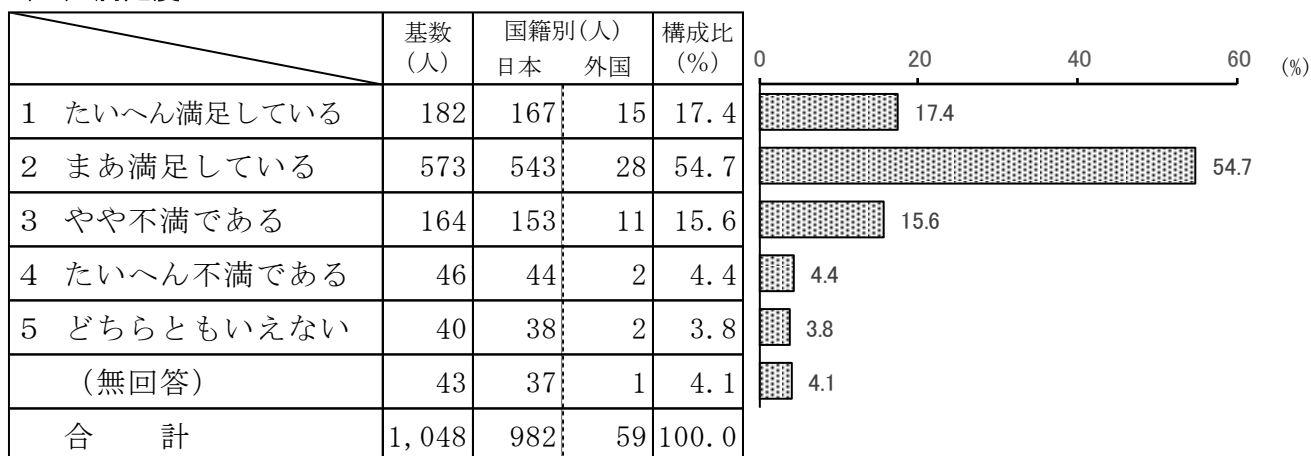


(5) 集合住宅の管理人体制

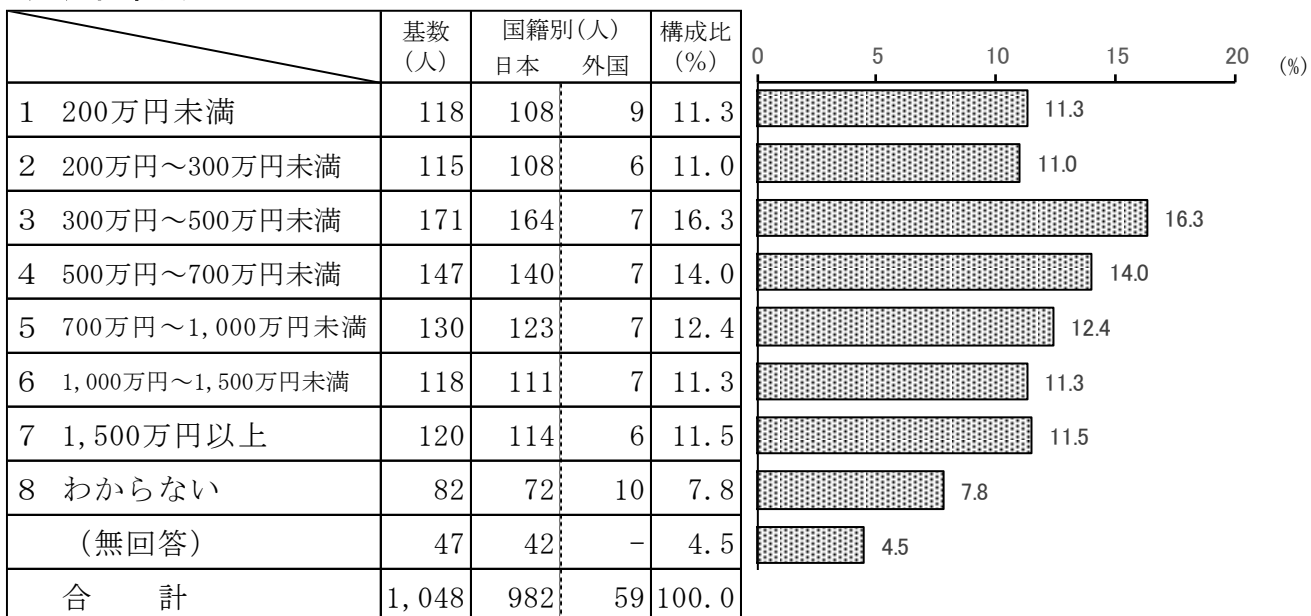


8 暮らし向き別

(1) 満足度



(2) 世帯収入



1 居住意向

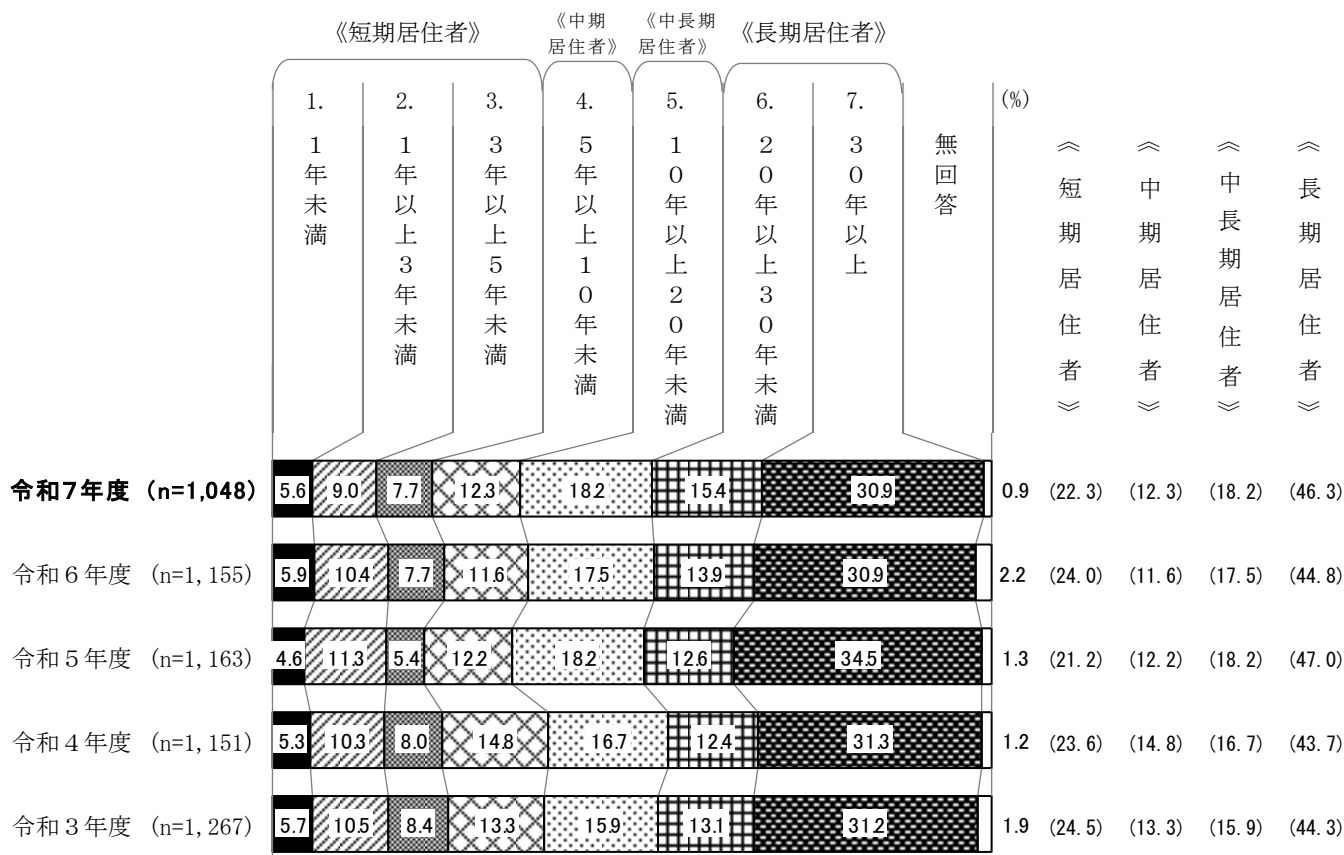
(1) 居住年数

◇「30年以上」が約3割で最も高く、「20年以上30年未満」「30年以上」を合わせた《長期居住者》は4割台半ばを超えている

問1 あなたは新宿区に住んで何年になりますか。(○は1つ)

	日本国籍	外国籍	[全体]
	n = 982	59	[1,048]
1 1年未満	5.1 %	13.6	[5.6]
2 1年以上3年未満	8.1	23.7	[9.0]
3 3年以上5年未満	7.5	11.9	[7.7]
4 5年以上10年未満	11.8	18.6	[12.3]
5 10年以上20年未満	18.8	8.5	[18.2]
6 20年以上30年未満	15.3	16.9	[15.4]
7 30年以上	32.5	5.1	[30.9]
(無回答)	0.8	1.7	[0.9]

<図表1-1> 居住年数



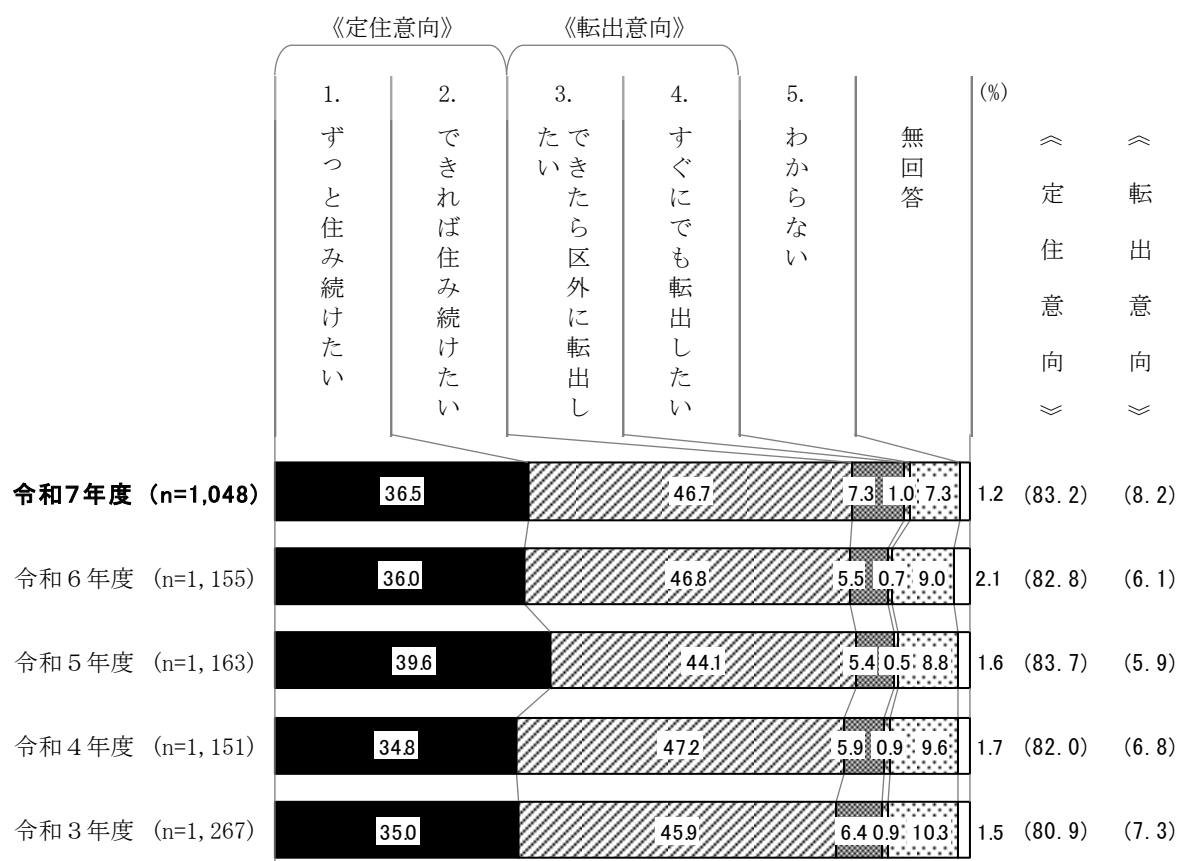
(2) 定住・転出意向

◇「ずっと住みたい」「できれば住みたい」をあわせた《定住意向》が8割台半ば近く

問2 あなたは、これからも新宿区に住みたいですか。(○は1つ)

	日本国籍	外国籍	[全体]
	n = 982	59	[1,048]
1 ずっと住みたい	36.6 %	37.3	[36.5]
2 できれば住みたい	46.8	42.4	[46.7]
3 できたら区外に転出したい	7.2	8.5	[7.3]
4 すぐにでも転出したい	0.9	1.7	[1.0]
5 わからない	7.2	8.5	[7.3]
(無回答)	1.2	1.7	[1.2]

<図表1-2> 定住・転出意向



(2-1) 転出したい理由

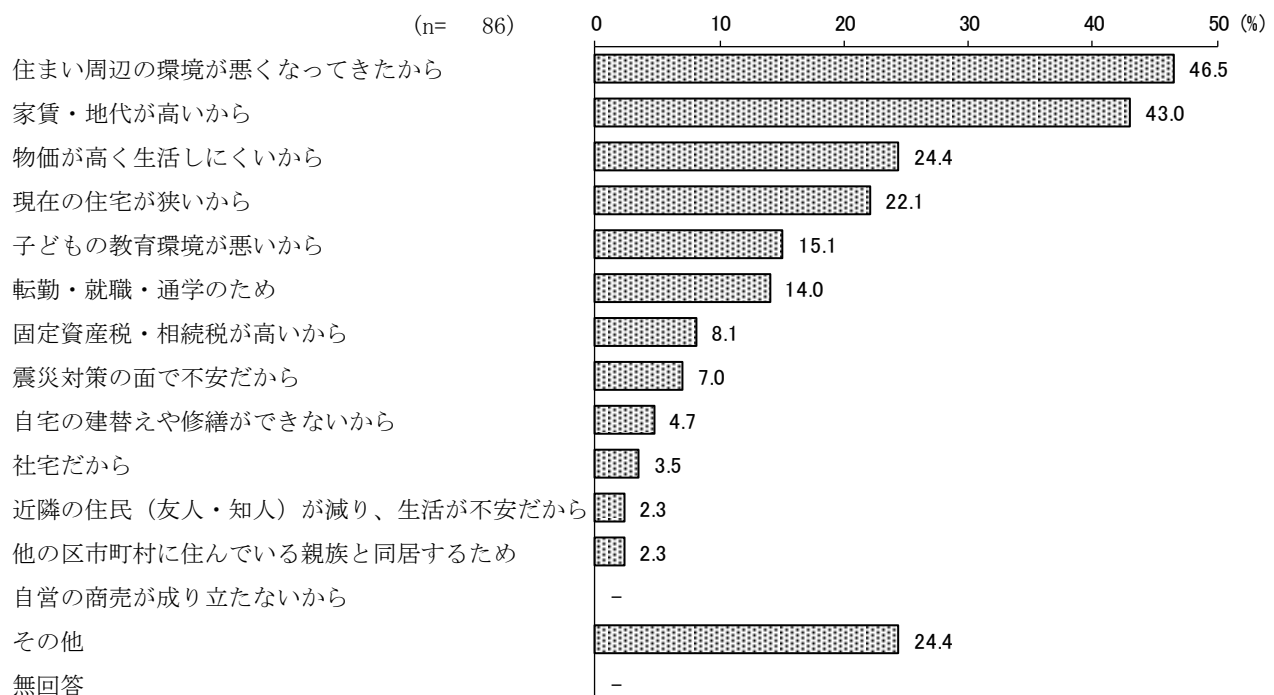
◇「住まい周辺の環境が悪くなってきたから」が4割台半ばを超えて最も高く、「家賃・地代が高いから」が4割台半ば近くで続く

(問2で「3」か「4」とお答えの方へおたずねします)

問2-1 あなたが区外に転出したい理由は何ですか。(○は3つまで)

	日本国籍	外国籍	[全体]
n =	80	6	[86]
1 現在の住宅が狭いから	20.0 %	50.0	[22.1]
2 自宅の建替えや修繕ができないから	5.0	-	[4.7]
3 家賃・地代が高いから	42.5	50.0	[43.0]
4 固定資産税・相続税が高いから	8.8	-	[8.1]
5 住まい周辺の環境が悪くなってきたから	47.5	33.3	[46.5]
6 震災対策の面で不安だから	6.3	16.7	[7.0]
7 近隣の住民(友人・知人)が減り、生活が不安だから	2.5	-	[2.3]
8 子どもの教育環境が悪いから	16.3	-	[15.1]
9 自営の商売が成り立たないから	-	-	[-]
10 他の区市町村に住んでいる親族と同居するため	2.5	-	[2.3]
11 転勤・就職・通学のため	12.5	33.3	[14.0]
12 物価が高く生活しにくいから	25.0	16.7	[24.4]
13 社宅だから	3.8	-	[3.5]
14 その他	23.8	33.3	[24.4]
(無回答)	-	-	[-]

<図表1-3> 転出したい理由(複数回答)



2 生活における心配事

(1) 生活における心配事

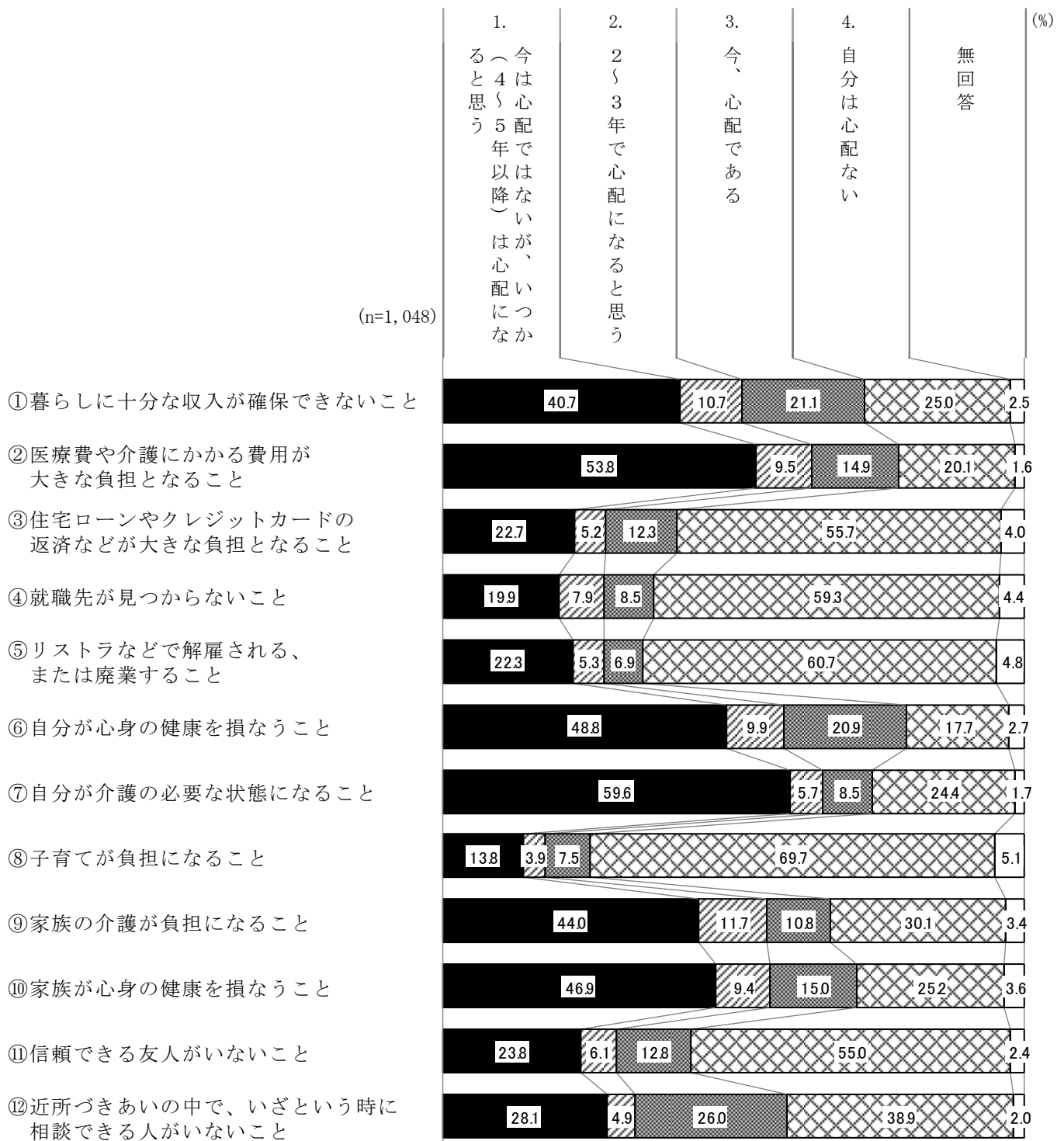
◇「今は心配ではないが、いつか（４～５年以降）は心配になると思う」は、『自分が介護の必要な状態になること』が６割弱で最も高く、『医療費や介護にかかる費用が大きな負担となること』が５割台半ば近くで続く

問３ あなたは、以下①～⑫のことについて、心配だと思うことがありますか。①～⑫のそれぞれについて１～４のうちあてはまるものに○をつけてください。（○はそれぞれ１つ）

	1. 今は心配ではないが、いつか（４～５年以降）は心配になると思う	2. ２～３年で心配になると思う	3. 今、心配である	4. 自分は心配ない	(無回答)
[表の見方] (%) 上段：日本国籍 (n= 982) 中段：外国籍 (n= 59) 下段：全体 (n=1,048)					
【家計】					
① 暮らしに十分な収入が確保できないこと	41.3	10.8	20.9	24.6	2.3
	27.1	8.5	25.4	33.9	5.1
	40.7	10.7	21.1	25.0	2.5
② 医療費や介護にかかる費用が大きな負担となること	54.4	9.7	15.3	19.1	1.5
	44.1	6.8	10.2	35.6	3.4
	53.8	9.5	14.9	20.1	1.6
③ 住宅ローンやクレジットカードの返済などが大きな負担となること	22.6	5.1	12.0	56.4	3.9
	25.4	5.1	16.9	45.8	6.8
	22.7	5.2	12.3	55.7	4.0
【仕事】					
④ 就職先が見つからないこと	19.9	7.4	8.0	60.2	4.5
	18.6	13.6	16.9	47.5	3.4
	19.9	7.9	8.5	59.3	4.4
⑤ リストラなどで解雇される、または廃業すること	22.2	5.3	6.9	61.0	4.6
	23.7	6.8	6.8	55.9	6.8
	22.3	5.3	6.9	60.7	4.8

	1. （4～5年以降）は心配になる と思う	2. 2～3年で心配になると思う	3. 今、心配である	4. 自分は心配ない	（無回答）
[表の見方] (%) 上段：日本国籍 (n= 982) 中段：外国籍 (n= 59) 下段：全体 (n=1, 048)					
【健康】					
⑥ 自分が心身の健康を損なうこと	50.6	10.2	21.2	15.5	2.5
	20.3	6.8	18.6	50.8	3.4
	48.8	9.9	20.9	17.7	2.7
⑦ 自分が介護の必要な状態になること	61.8	6.0	8.8	21.9	1.5
	23.7	1.7	5.1	66.1	3.4
	59.6	5.7	8.5	24.4	1.7
【家族】					
⑧ 子育てが負担になること	13.4	4.1	7.6	69.9	5.0
	22.0	1.7	6.8	66.1	3.4
	13.8	3.9	7.5	69.7	5.1
⑨ 家族の介護が負担になること	45.6	11.8	11.3	28.0	3.3
	20.3	10.2	3.4	62.7	3.4
	44.0	11.7	10.8	30.1	3.4
⑩ 家族が心身の健康を損なうこと	48.1	9.7	15.2	23.6	3.5
	27.1	5.1	13.6	50.8	3.4
	46.9	9.4	15.0	25.2	3.6
【地域・社会】					
⑪ 信頼できる友人がいないこと	23.9	6.3	12.6	54.9	2.2
	20.3	3.4	16.9	55.9	3.4
	23.8	6.1	12.8	55.0	2.4
⑫ 近所づきあいの中で、いざという時に相談できる人がいないこと	28.7	5.0	25.7	38.8	1.8
	18.6	3.4	33.9	40.7	3.4
	28.1	4.9	26.0	38.9	2.0

＜図表 2－1＞生活における心配事



3 区政への関心

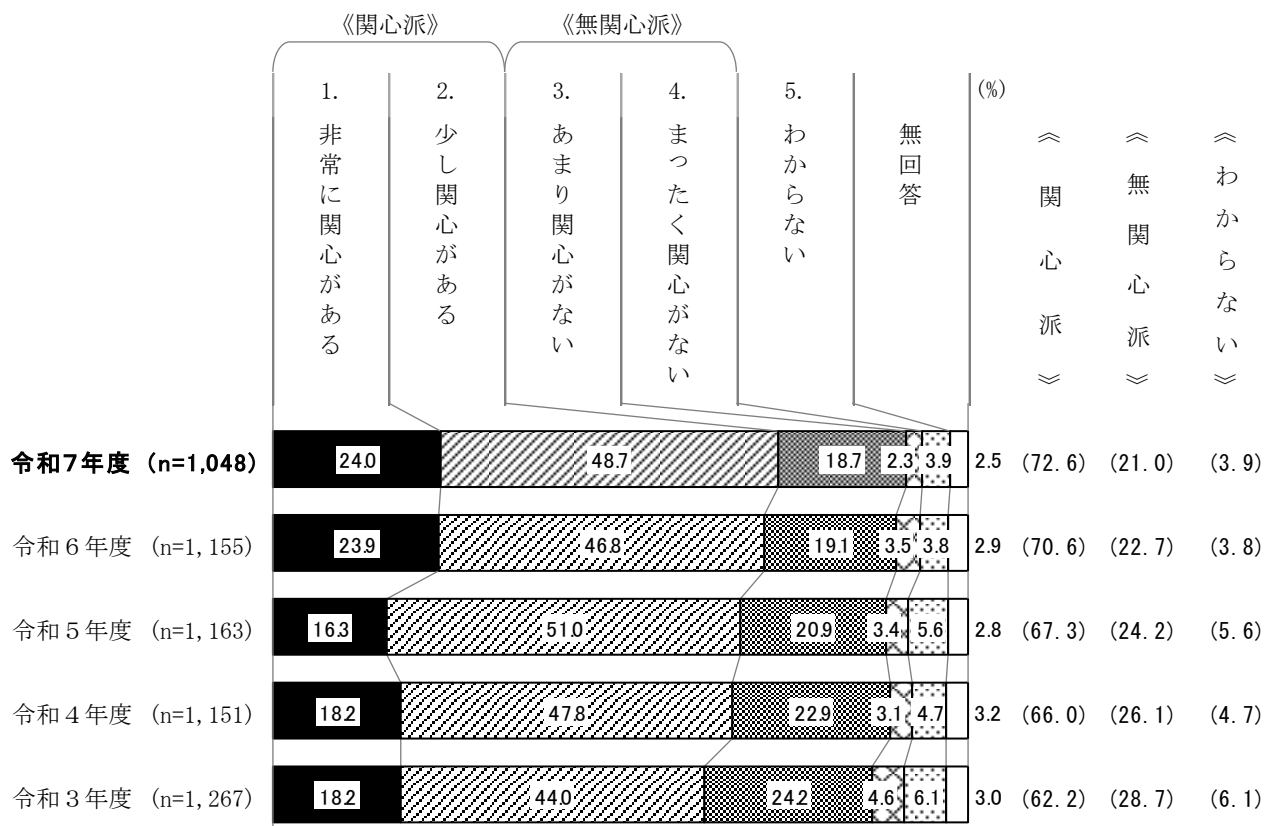
(1) 区政への関心度

◇「非常に関心がある」「少し関心がある」をあわせた《関心派》が7割強、「あまり関心がない」「まったく関心がない」をあわせた《無関心派》が2割強

問4 あなたは、区政にどのくらい関心がありますか。(○は1つ)

	日本国籍	外国籍	[全体]
	n = 982	59	[1,048]
1 非常に関心がある	24.4 %	18.6	[24.0]
2 少し関心がある	49.2	40.7	[48.7]
3 あまり関心がない	18.9	16.9	[18.7]
4 まったく関心がない	1.8	10.2	[2.3]
5 わからない	3.4	8.5	[3.9]
(無回答)	2.2	5.1	[2.5]

<図表3-1> 区政への関心度



(1-1) 区政に関心がある理由

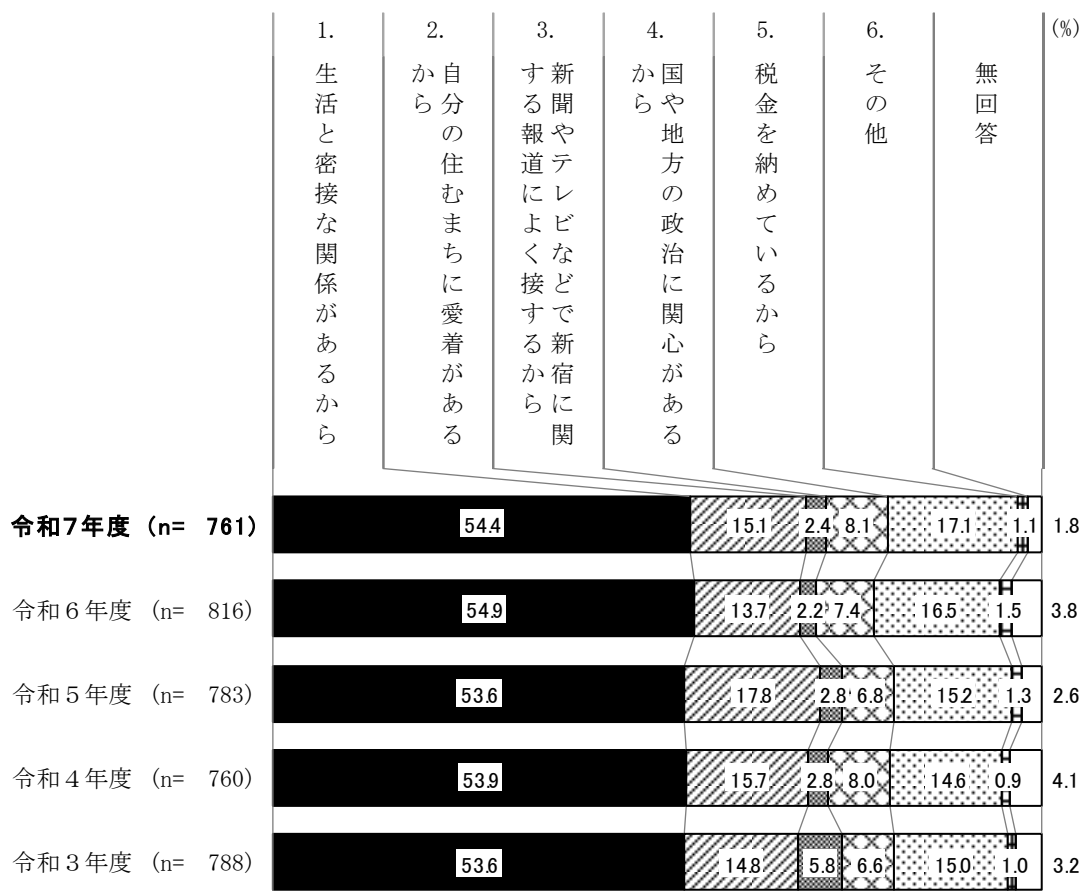
◇「生活と密接な関係があるから」が5割台半ば近くで最も高い

(問4で「1」か「2」とお答えの方へおたずねします)

問4-1 あなたが区政に関心があるのは、どのような理由からですか。(○は1つ)

	日本国籍	外国籍	[全体]
n =	723	35	[761]
1 生活と密接な関係があるから	54.8 %	45.7	[54.4]
2 自分の住むまちに愛着があるから	14.1	34.3	[15.1]
3 新聞やテレビなどで新宿に関する報道によく接するから	2.5	-	[2.4]
4 国や地方の政治に関心があるから	8.2	8.6	[8.1]
5 税金を納めているから	17.7	5.7	[17.1]
6 その他	1.0	2.9	[1.1]
(無回答)	1.8	2.9	[1.8]

<図表3-2> 区政に関心がある理由



(1-2) 区政に関心がない理由

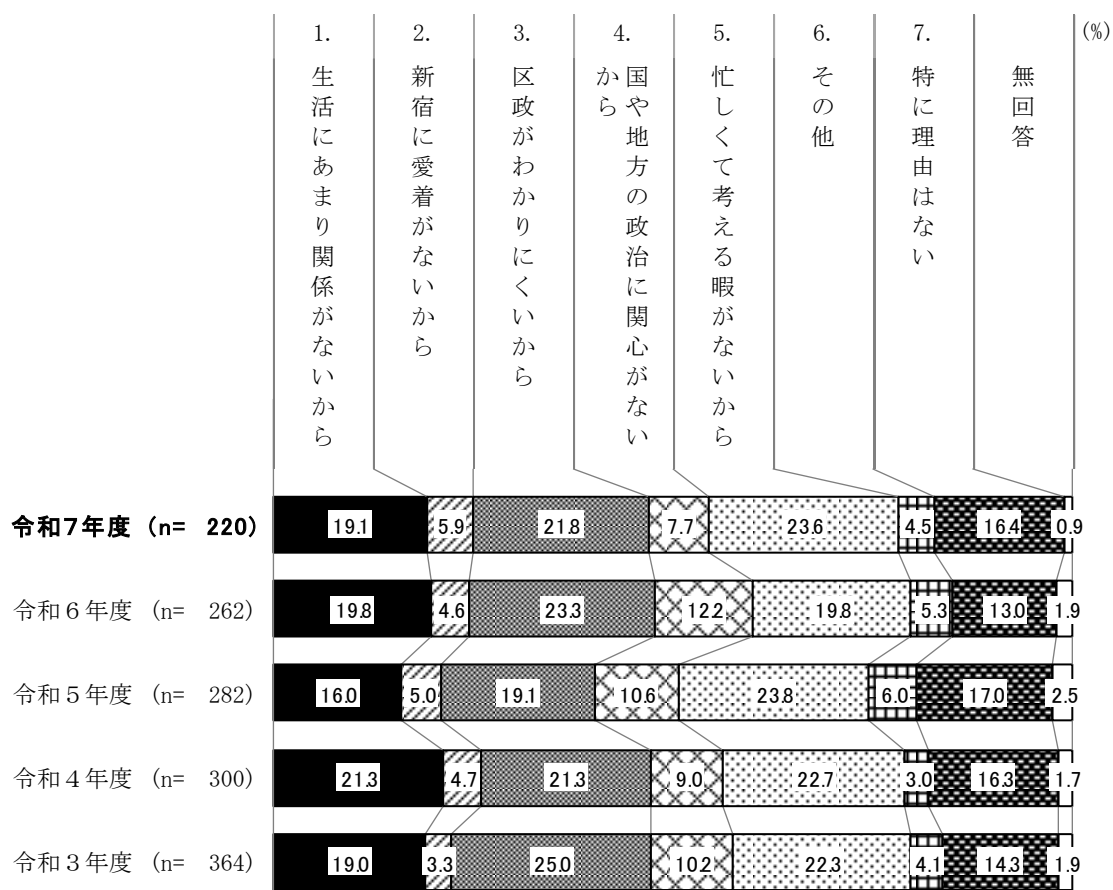
◇「忙しくて考える暇がないから」が2割台半ば近くで最も高く、「区政がわかりにくいから」が2割強で続く

(問4で「3」か「4」とお答えの方へおたずねします)

問4-2 あなたが区政に関心がないのは、どのような理由からですか。(○は1つ)

	日本国籍	外国籍	[全体]
	n = 204	16	[220]
1 生活にあまり関係がないから	19.6 %	12.5	[19.1]
2 新宿に愛着がないから	5.9	6.3	[5.9]
3 区政がわかりにくいから	23.0	6.3	[21.8]
4 国や地方の政治に関心がないから	6.9	18.8	[7.7]
5 忙しくて考える暇がないから	23.0	31.3	[23.6]
6 その他	3.9	12.5	[4.5]
7 特に理由はない (無回答)	16.7	12.5	[16.4]
	1.0	-	[0.9]

<図表3-3> 区政に関心がない理由



4 区政情報の入手方法

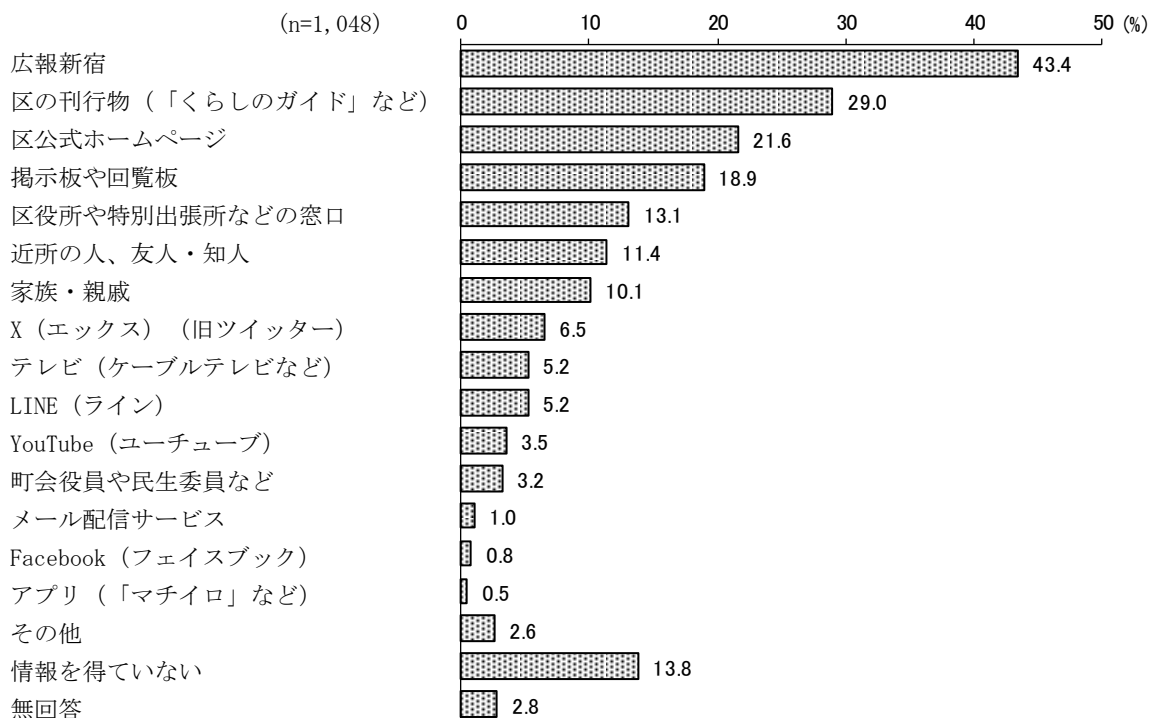
(1) 区の行政サービスの情報取得手段

◇「広報新宿」が4割台半ば近くで最も高く、「区の刊行物（「くらしのガイド」など）」が3割弱で続く

問5 あなたは、区の行政サービスに関する情報をどこから得ていますか。（○は3つまで）

	日本国籍	外国籍	[全体]
	n = 982	59	[1,048]
1 広報新宿	44.8 %	22.0	[43.4]
2 区の刊行物（「くらしのガイド」など）	30.4	8.5	[29.0]
3 掲示板や回覧板	19.3	11.9	[18.9]
4 テレビ（ケーブルテレビなど）	4.8	13.6	[5.2]
5 区公式ホームページ	22.2	13.6	[21.6]
6 LINE（ライン）	5.3	5.1	[5.2]
7 YouTube（ユーチューブ）	3.0	11.9	[3.5]
8 X（エックス）（旧ツイッター）	6.4	8.5	[6.5]
9 Facebook（フェイスブック）	0.4	6.8	[0.8]
10 メール配信サービス	0.7	6.8	[1.0]
11 アプリ（「マチイロ」など）	0.5	—	[0.5]
12 区役所や特別出張所などの窓口	13.2	11.9	[13.1]
13 町会役員や民生委員など	3.4	1.7	[3.2]
14 家族・親戚	10.0	13.6	[10.1]
15 近所の人、友人・知人	11.1	16.9	[11.4]
16 その他	2.4	5.1	[2.6]
17 情報を得ていない（無回答）	13.2	20.3	[13.8]
	2.7	1.7	[2.8]

<図表4-1> 区の行政サービスの情報取得手段（複数回答）



5 区政への要望

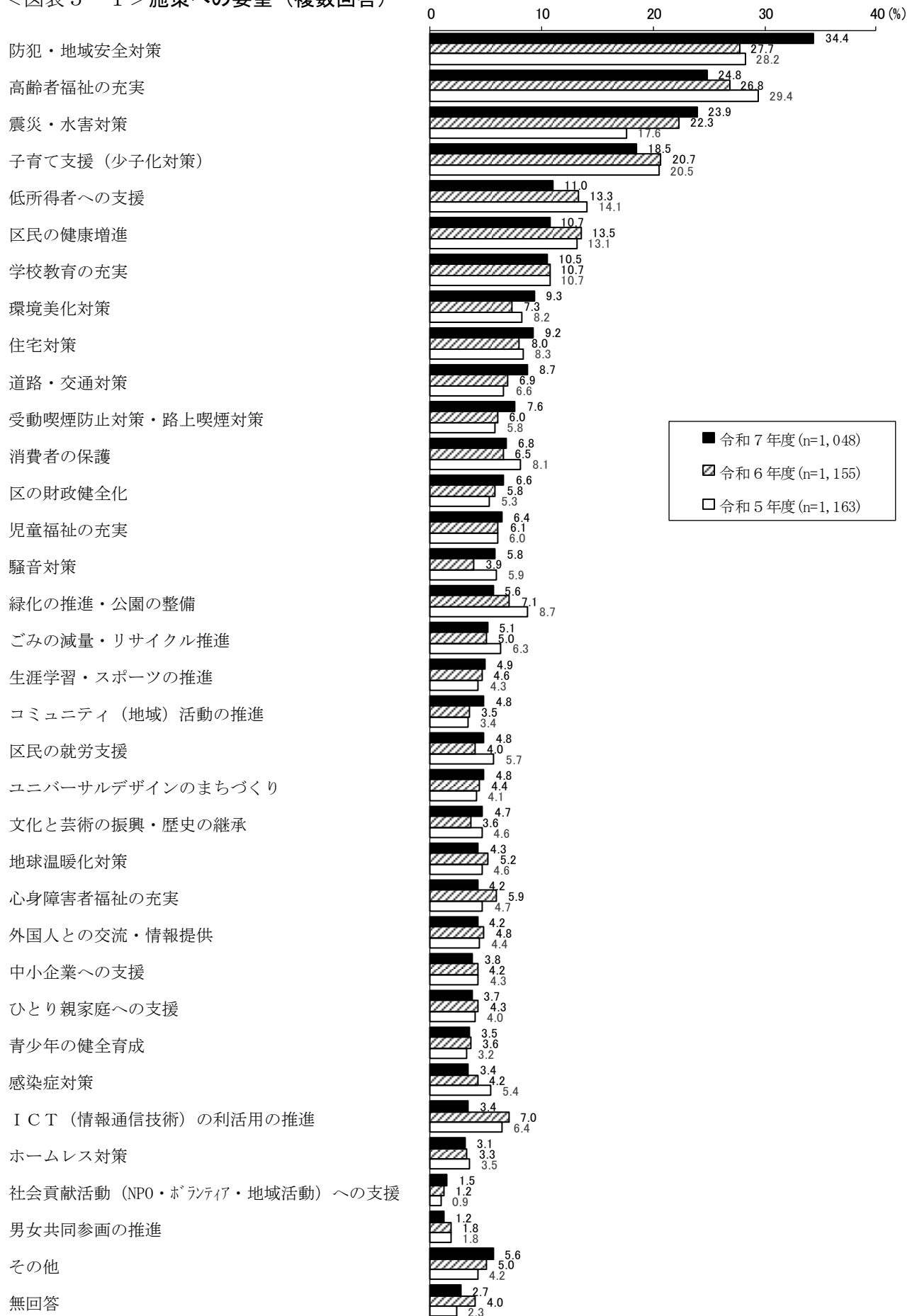
(1) 施策への要望

◇「防犯・地域安全対策」が3割台半ば近くで最も高く、「高齢者福祉の充実」が2割台半ば近くで続く

問6 あなたが区に力を入れて取り組んでほしいと思うものは何ですか。(○は3つまで)

	日本国籍	外国籍	[全体]
	n = 982	59	[1,048]
1 区民の健康増進	11.0 %	3.4	[10.7]
2 高齢者福祉の充実	25.9	10.2	[24.8]
3 心身障害者福祉の充実	4.2	5.1	[4.2]
4 子育て支援（少子化対策）	18.8	15.3	[18.5]
5 ひとり親家庭への支援	3.7	5.1	[3.7]
6 児童福祉の充実	6.2	10.2	[6.4]
7 青少年の健全育成	3.5	5.1	[3.5]
8 学校教育の充実	10.9	5.1	[10.5]
9 低所得者への支援	10.4	20.3	[11.0]
10 ホームレス対策	2.7	10.2	[3.1]
11 男女共同参画の推進	1.2	1.7	[1.2]
12 社会貢献活動（NPO・ボランティア・地域活動）への支援	1.5	1.7	[1.5]
13 コミュニティ（地域）活動の推進	4.9	3.4	[4.8]
14 区民の就労支援	4.8	5.1	[4.8]
15 住宅対策	9.0	11.9	[9.2]
16 震災・水害対策	24.5	13.6	[23.9]
17 防犯・地域安全対策	35.9	11.9	[34.4]
18 消費者の保護	7.1	1.7	[6.8]
19 感染症対策	3.3	5.1	[3.4]
20 受動喫煙防止対策・路上喫煙対策	7.4	11.9	[7.6]
21 騒音対策	5.5	10.2	[5.8]
22 環境美化対策	9.1	11.9	[9.3]
23 ユニバーサルデザインのまちづくり	4.8	5.1	[4.8]
24 道路・交通対策	9.0	5.1	[8.7]
25 緑化の推進・公園の整備	5.7	5.1	[5.6]
26 地球温暖化対策	4.6	-	[4.3]
27 ごみの減量・リサイクル推進	5.1	5.1	[5.1]
28 中小企業への支援	4.1	-	[3.8]
29 文化と芸術の振興・歴史の継承	4.7	5.1	[4.7]
30 生涯学習・スポーツの推進	5.0	3.4	[4.9]
31 外国人との交流・情報提供	2.6	28.8	[4.2]
32 区の財政健全化	6.8	3.4	[6.6]
33 ICT（情報通信技術）の利活用の推進	3.4	5.1	[3.4]
34 その他	5.8	3.4	[5.6]
（無回答）	2.2	5.1	[2.7]

＜図表 5－1＞施策への要望（複数回答）



（注）「ICT（情報通信技術）の利活用の推進」は令和 6 年度以前は「IT（情報技術）化の推進」で聴取。

6 選挙

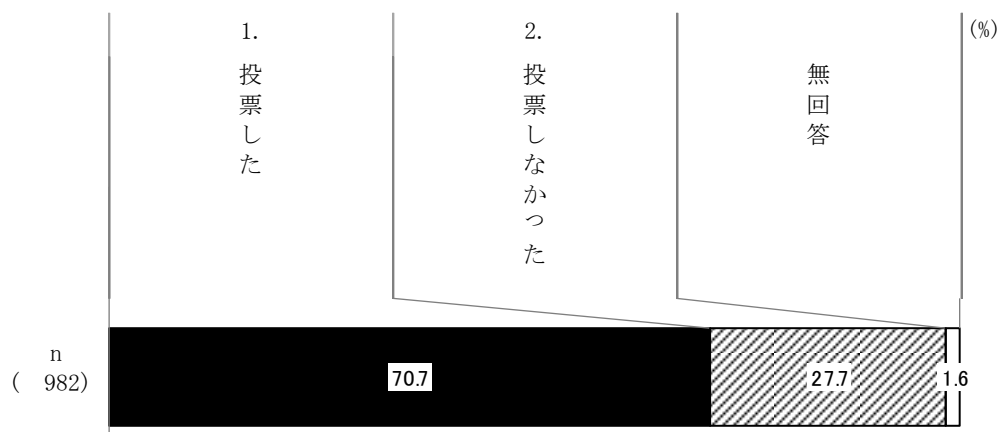
(1) 東京都議会議員選挙の投票の有無

◇「投票した」が約7割、「投票しなかった」が2割台半ばを超える

問7 あなたは、令和7年6月22日の東京都議会議員選挙で投票しましたか。(○は1つ)
※令和7年6月22日時点で、満18歳以上の日本国民の方のみお答えください。
(平成19年6月23日以前に生まれた方)

	n =	982
1 投票した	70.7	%
2 投票しなかった	27.7	
(無回答)	1.6	

<図表6-1> 東京都議会議員選挙の投票の有無



(注) n は日本国籍としている。

<図表6-2> 調査結果からの投票率と実際の投票率（新宿区）

	全体	男性	女性
調査結果からの投票率	70.7 %	72.5 %	70.3 %
実際の投票率	45.92 %	45.00 %	46.82 %

(注) 実際の投票率のデータに合わせるため性別は男女のみ掲載。

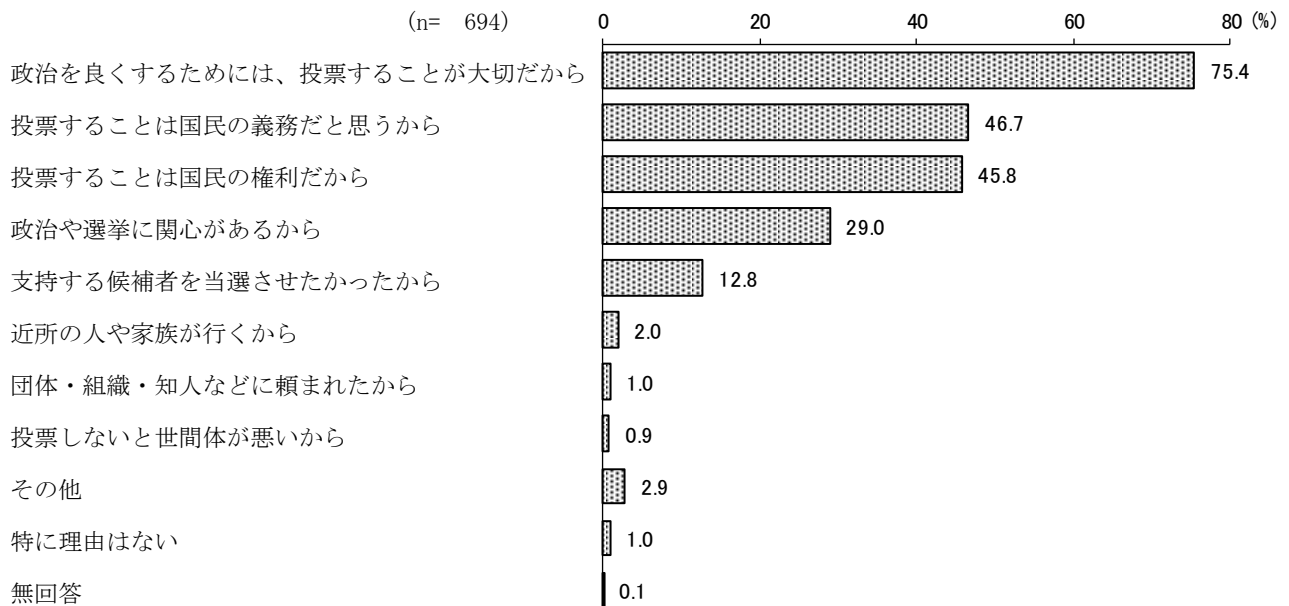
(1-1) 投票した理由

◇「政治を良くするためには、投票することが大切だから」が7割台半ばで最も高く、「投票することは国民の義務だと思うから」が4割台半ばを超えて続く

(問7で「1 投票した」とお答えの方へおたずねします)
問7-1 投票した理由は何ですか。(○は3つまで)

	n = 694
1 政治を良くするためには、投票することが大切だから	75.4 %
2 投票することは国民の権利だから	45.8
3 投票することは国民の義務だと思うから	46.7
4 支持する候補者を当選させたかったから	12.8
5 政治や選挙に関心があるから	29.0
6 近所の人や家族が行くから	2.0
7 団体・組織・知人などに頼まれたから	1.0
8 投票しないと世間体が悪いから	0.9
9 その他	2.9
10 特に理由はない	1.0
(無回答)	0.1

<図表6-3> 投票した理由 (複数回答)



(注) nは日本国籍としている。

(1-2) 投票しなかった理由

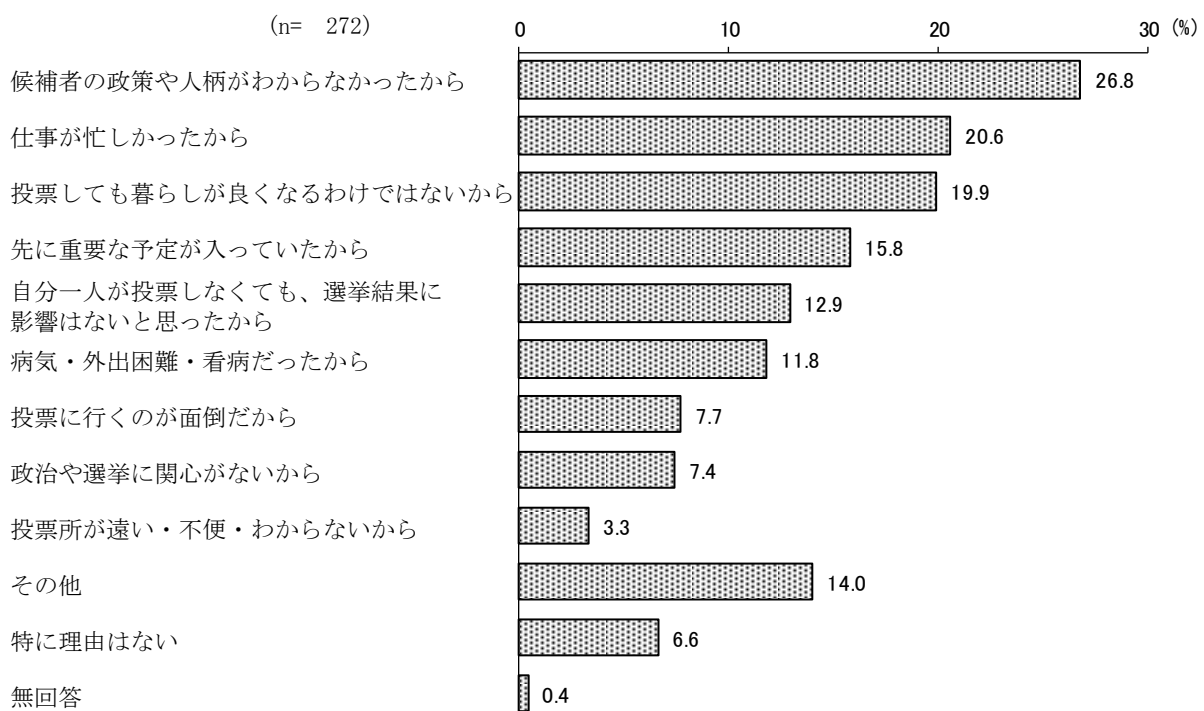
◇「候補者の政策や人柄がわからなかったから」が2割台半ばを超えて最も高く、「仕事が忙しかったから」が約2割で続く

(問7で「2 投票しなかった」とお答えの方へおたずねします)

問7-2 投票しなかった理由は何ですか。(○は3つまで)

	n = 272	
1 候補者の政策や人柄がわからなかったから	26.8	%
2 投票しても暮らしが良くなるわけではないから	19.9	
3 仕事が忙しかったから	20.6	
4 先に重要な予定が入っていたから	15.8	
5 病気・外出困難・看病だったから	11.8	
6 自分一人が投票しなくても、選挙結果に影響はないと思ったから	12.9	
7 政治や選挙に関心がないから	7.4	
8 投票に行くのが面倒だから	7.7	
9 投票所が遠い・不便・わからないから	3.3	
10 その他	14.0	
11 特に理由はない	6.6	
(無回答)	0.4	

<図表6-4> 投票しなかった理由（複数回答）



(注) nは日本国籍としている。

7 基本構想及び総合計画

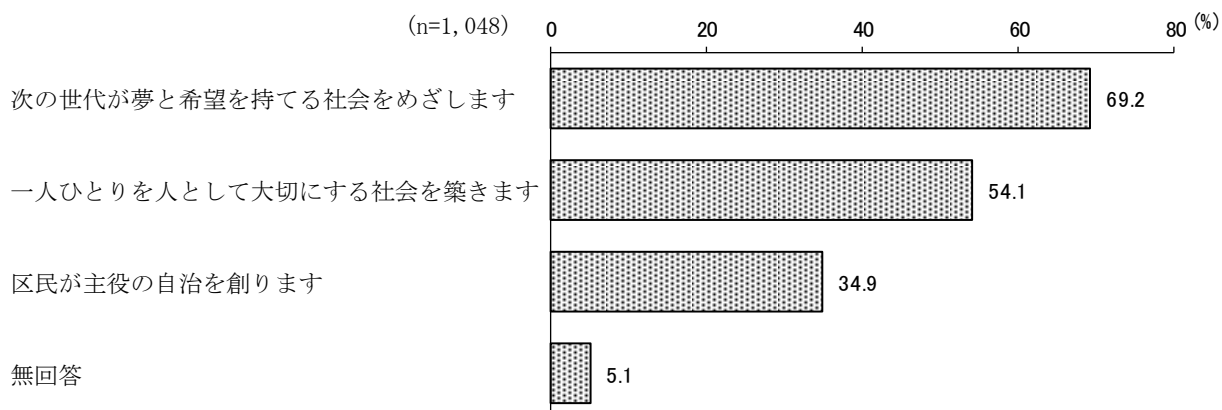
(1) 次の基本構想にも継続すべき基本理念

◇「次の世代が夢と希望を持てる社会をめざします」が7割弱で最も高く、「一人ひとりを人として大切にする社会を築きます」が5割台半ば近くで続く

問8 3つの基本理念について、次の基本構想にも引き継がれていくべきものと思うものに○をつけてください。(○はいくつでも)

	日本国籍	外国籍	[全体]
n =	982	59	[1,048]
1 区民が主役の自治を創ります	35.3 %	30.5	[34.9]
2 一人ひとりを人として大切にする社会を築きます	54.2	54.2	[54.1]
3 次の世代が夢と希望を持てる社会をめざします	70.3	52.5	[69.2]
(無回答)	4.1	18.6	[5.1]

<図表7-1> 次の基本構想にも継続すべき基本理念（複数回答）



(注) 問9、問10は自由記述のため速報版は非掲載。

(2) 5つの基本政策で定める個別施策(33施策)に対する重要度

◇「重要」に着目すると、基本政策Ⅱ『新宿の高度防災都市化と安全安心の強化』の3施策が6割以上で高い

問11 現在、区が5つの基本政策で定める個別施策(33施策)に対する重要度について、あてはまるものを選んでください。(○はそれぞれ1つ)

[表の見方] (%) 上段：日本国籍 (n= 982) 中段：外国籍 (n= 59) 下段：全体 (n=1,048)	1. 重要	2. 重要 どちらかといえば	3. どちらかといえば 重要でない	4. 重要でない	5. その他	(無回答)
〔基本政策Ⅰ 暮らしやすさ1番の新宿〕						
① 生涯にわたり心身ともに健康で暮らせる健康寿命の延伸に向けた取組の充実(ウォーキング、区オリジナル体操を通じた健康づくり、介護予防・フレイル予防の取組、生活習慣病の予防など)	38.0	42.7	10.0	5.8	1.3	2.2
	52.5	33.9	5.1	3.4	1.7	3.4
	38.6	42.0	9.8	5.6	1.3	2.6
② 住み慣れた地域で暮らし続けられる地域包括ケアシステムの推進(高齢者の総合相談体制の充実、地域支え合い活動の推進、特別養護老人ホームなど介護施設の整備、認知症高齢者への支援など)	51.7	34.3	7.4	3.6	0.7	2.2
	47.5	35.6	6.8	1.7	3.4	5.1
	51.2	34.4	7.3	3.4	0.9	2.7
③ 障害者がいきいきと暮らし続けられる環境の整備(障害者の地域生活支援、グループホームの設置促進、障害を理由とする差別解消推進など)	38.0	45.2	9.3	4.7	0.5	2.3
	49.2	37.3	6.8	3.4	-	3.4
	38.5	44.8	9.1	4.6	0.5	2.7
④ 安心できる子育て環境の整備(出産・子育て応援ギフトや産後ケア事業など産前・産後の支援、子育てに関する相談支援、保育基盤の整備、学童クラブの充実など)	58.9	28.2	6.4	2.7	1.1	2.6
	67.8	27.1	1.7	-	-	3.4
	59.3	28.0	6.2	2.6	1.0	3.0
⑤ 未来を担う子どもたちの生きる力を伸ばす教育の充実(学校の教育力の強化、新宿区版GIGAスクール構想に基づくICT教育の充実、不登校児童生徒への教育機会の確保など)	58.9	27.6	7.3	2.5	1.0	2.6
	69.5	20.3	6.8	-	-	3.4
	59.3	27.2	7.3	2.4	1.0	3.0
⑥ セーフティネットの整備充実(生活困窮者の自立支援、生活困窮世帯の子どもたちへの学習支援など)	41.8	39.2	10.8	4.5	1.2	2.5
	62.7	23.7	6.8	1.7	1.7	3.4
	42.9	38.2	10.5	4.3	1.2	2.9
⑦ 女性や若者が活躍できる地域づくりの推進(男女共同参画の推進、ワーク・ライフ・バランスの推進(認定制度に基づく事業者支援等))	33.0	44.9	12.8	5.0	1.6	2.6
	57.6	23.7	8.5	5.1	-	5.1
	34.2	43.7	12.5	5.1	1.5	3.1
⑧ 地域の課題を共有し、ともに考え、地域の実情に合ったまちづくりの推進(町会・自治会、NPO等の地域活動団体への支援、新宿区未来につなぐ町会・自治会ささえあい条例の制定など) ※都市マスタープランの「めざす都市の骨格の考え方」と共有	26.7	49.5	15.9	4.6	0.8	2.5
	35.6	44.1	15.3	1.7	-	3.4
	27.0	49.2	15.7	4.4	0.8	2.9
⑨ 地域での生活を支える取組の推進(障害者、高齢者、若年非就業者等に対する総合的な就労支援、高齢者や障害者等の住まいの確保、成年後見制度の利用促進など)	38.4	44.4	10.7	3.7	0.5	2.3
	45.8	40.7	6.8	3.4	1.7	1.7
	38.7	44.1	10.4	3.6	0.6	2.6

Ⅲ 調査結果の分析 7 基本構想及び総合計画

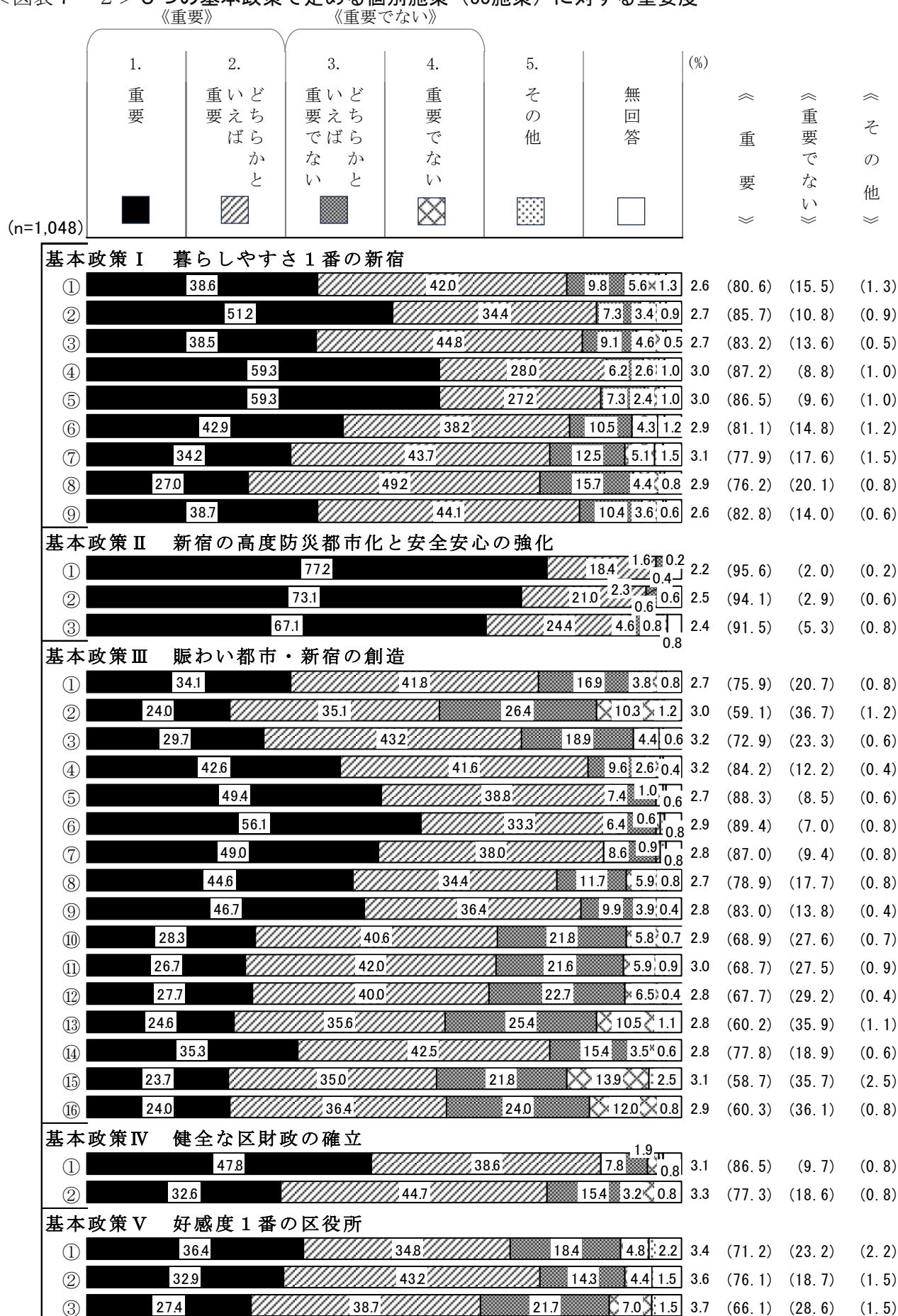
[表の見方] (%) 上段：日本国籍 (n= 982) 中段：外国籍 (n= 59) 下段：全体 (n=1,048)	1. 重要	2. 重要 どちらかといえば	3. どちらかといえば 重要でない	4. 重要でない	5. その他	(無回答)
〔基本政策Ⅱ 新宿の高度防災都市化と安全安心の強化〕						
① 災害に強い、逃げないですむ安全なまちづくり（建築物等の耐震性強化、擁壁・がけの安全化、木造住宅密集地域の防災性強化、再開発による市街地整備、道路の無電柱化、道路・公園の防災性向上、橋の整備など）※都市マスタープランの「めざす都市の骨格の考え方」と共有	77.1	18.7	1.7	0.4	0.2	1.8
	81.4	15.3	—	—	—	3.4
	77.2	18.4	1.6	0.4	0.2	2.2
② 災害に強い体制づくり（避難所運営体制の充実、マンション防災対策の充実、在宅避難啓発グッズの配布等による防災意識の向上、災害用備蓄物資の充実、帰宅困難者対策の推進など）※都市マスタープランの「めざす都市の骨格の考え方」と共有	73.0	21.3	2.4	0.6	0.5	2.1
	76.3	18.6	—	—	1.7	3.4
	73.1	21.0	2.3	0.6	0.6	2.5
③ 暮らしやすい安全で安心なまちの実現（歌舞伎町安全安心パトロールの実施・「新宿駅周辺地域の安全で秩序ある環境の確保に関する条例」の制定等繁華街対策、新型インフルエンザ等対策、客引き防止対策、特殊詐欺対策など）※都市マスタープランの「めざす都市の骨格の考え方」と共有	67.4	24.6	4.4	0.8	0.7	2.0
	62.7	23.7	8.5	—	1.7	3.4
	67.1	24.4	4.6	0.8	0.8	2.4
〔基本政策Ⅲ 賑わい都市・新宿の創造〕						
① 回遊性と利便性の向上による魅力的で歩いて楽しいまちづくり（新宿駅周辺地区の整備推進、新宿駅周辺地区の地区計画等のまちづくりルール策定など）※都市マスタープランの「めざす都市の骨格の考え方」と共有	33.4	42.6	17.1	3.8	0.8	2.3
	49.2	30.5	13.6	5.1	—	1.7
	34.1	41.8	16.9	3.8	0.8	2.7
② 誰もが安心して楽しめるエンターテインメントシティの実現（歌舞伎町ルネッサンス推進協議会の下、区、地元・事業者、関係行政機関、NPO、ボランティア等が一体となり歌舞伎町地区のまちづくりを推進）	23.4	35.3	27.1	10.2	1.3	2.6
	35.6	32.2	16.9	13.6	—	1.7
	24.0	35.1	26.4	10.3	1.2	3.0
③ 地域特性を活かした都市空間づくり（地域の特性を活かした地区計画等まちづくりのルール策定、景観に配慮したまちづくりの推進など）※都市マスタープランの「めざす都市の骨格の考え方」と共有	29.2	43.7	19.5	4.3	0.6	2.7
	40.7	37.3	10.2	6.8	—	5.1
	29.7	43.2	18.9	4.4	0.6	3.2
④ 誰もが自由に歩ける、利用しやすく、わかりやすいまちづくり（バリアフリーの整備促進、ユニバーサルデザインまちづくりの推進など）※都市マスタープランの「めざす都市の骨格の考え方」と共有	42.3	42.3	9.7	2.5	0.4	2.9
	50.8	35.6	6.8	3.4	—	3.4
	42.6	41.6	9.6	2.6	0.4	3.2
⑤ 道路環境の整備（都市計画道路等の整備、バリアフリーの道づくりなど人にやさしい道路整備、遮熱性舗装や街路灯のLED化等道路の環境対策など）※都市マスタープランの「めざす都市の骨格の考え方」と共有	49.8	39.1	7.2	1.0	0.6	2.2
	47.5	35.6	11.9	1.7	—	3.4
	49.4	38.8	7.4	1.0	0.6	2.7
⑥ 交通環境の整備（自転車通行空間の整備等自転車等の適正利用推進、ホームドア等設置促進による安全で快適な鉄道駅の整備促進など）※都市マスタープランの「めざす都市の骨格の考え方」と共有	56.3	33.5	6.3	0.5	0.8	2.5
	55.9	32.2	8.5	1.7	—	1.7
	56.1	33.3	6.4	0.6	0.8	2.9

[表の見方] (%) 上段：日本国籍 (n= 982) 中段：外国籍 (n= 59) 下段：全体 (n=1,048)	1. 重要	2. 重要 どちらかといえば	3. 重要でない どちらかといえば	4. 重要でない	5. その他	(無回答)
〔基本政策Ⅲ 賑わい都市・新宿の創造〕(続き)						
⑦ 豊かなみどりの創造と魅力ある公園等の整備(新宿中央公園の魅力向上、みんなで考える身近な公園の整備、清潔できれいなトイレづくり、みどりの計画的な保全、次世代に向けた桜並木の維持・継承など) ※都市マスタープランの「めざす都市の骨格の考え方」と共有	48.6	38.6	8.8	0.8	0.8	2.4
	61.0	28.8	6.8	1.7	-	1.7
	49.0	38.0	8.6	0.9	0.8	2.8
⑧ 地球温暖化対策の推進(省エネルギー、創エネルギー機器等補助、新宿の森でのカーボン・オフセット事業、区有施設のLED化、環境学習・環境教育の推進など) ※都市マスタープランの「めざす都市の骨格の考え方」と共有	44.4	34.9	12.0	5.6	0.8	2.2
	47.5	28.8	8.5	11.9	-	3.4
	44.6	34.4	11.7	5.9	0.8	2.7
⑨ 資源循環型社会の構築(食品ロス削減の推進、資源プラスチック回収推進、ごみ減量とリサイクルの推進など)	46.8	36.6	9.8	4.1	0.4	2.3
	47.5	33.9	13.6	1.7	-	3.4
	46.7	36.4	9.9	3.9	0.4	2.8
⑩ 活力ある産業が芽吹くまちの実現(中小企業新事業創出支援、「しんじゅく逸品」の普及による新宿の魅力発信、地場産業の魅力発信など)	27.8	41.3	21.7	5.9	0.7	2.5
	39.0	28.8	25.4	5.1	-	1.7
	28.3	40.6	21.8	5.8	0.7	2.9
⑪ 魅力ある商店街の活性化に向けた支援(大学等との連携による商店街支援、商店会情報誌の発行など)	26.3	42.7	21.4	6.1	0.9	2.6
	33.9	33.9	27.1	3.4	-	1.7
	26.7	42.0	21.6	5.9	0.9	3.0
⑫ まちの歴史や記憶、文化、芸術など多様な魅力による賑わいの創造(音楽・美術・演劇等幅広いジャンルのイベントからなる「新宿フィールドミュージアム」の実施、文化体験プログラムや大新宿区まつりの実施など) ※都市マスタープランの「めざす都市の骨格の考え方」と共有	27.5	39.7	23.2	6.7	0.4	2.4
	33.9	44.1	16.9	3.4	-	1.7
	27.7	40.0	22.7	6.5	0.4	2.8
⑬ 国際観光都市・新宿としての魅力の向上(魅力ある観光情報の発信、観光資源を活かした区内回遊性の向上、新宿観光案内所の運営など) ※都市マスタープランの「めざす都市の骨格の考え方」と共有	23.9	35.6	26.1	10.7	1.2	2.4
	39.0	35.6	15.3	8.5	-	1.7
	24.6	35.6	25.4	10.5	1.1	2.8
⑭ 生涯にわたり学習・スポーツ活動などを楽しむ環境の充実(図書館サービスの充実、スポーツ環境の整備、パラスポーツ体験会等障害者スポーツの推進など)	34.3	43.1	16.0	3.6	0.6	2.4
	55.9	32.2	6.8	3.4	-	1.7
	35.3	42.5	15.4	3.5	0.6	2.8
⑮ 多文化共生のまちづくりの推進(外国人と日本人がともに暮らすまちづくり、新宿区多文化共生まちづくり会議の運営、外国人への情報提供など)	21.6	35.9	22.8	14.4	2.6	2.6
	61.0	20.3	6.8	6.8	-	5.1
	23.7	35.0	21.8	13.9	2.5	3.1
⑯ 平和都市の推進(親と子の平和派遣事業、平和のポスター展の開催、平和啓発事業の推進など)	22.9	36.9	24.8	12.0	0.8	2.5
	42.4	30.5	11.9	13.6	-	1.7
	24.0	36.4	24.0	12.0	0.8	2.9

Ⅲ 調査結果の分析 7 基本構想及び総合計画

	1. 重要	2. 重要 どちらか といえ ば	3. 重要で ない どちらか といえ ば	4. 重要で ない	5. その他	(無回答)
[表の見方] (%) 上段：日本国籍 (n= 982) 中段：外国籍 (n= 59) 下段：全体 (n=1, 048)						
〔基本政策Ⅳ 健全な区財政の確立〕						
① 効果的・効率的な行財政運営（行政評価制度の推進、民間提案制度活用による質の高い行政サービスの実施、RPA等ICTの利活用による業務見直し、滞納整理業務の一元化による業務効率化など）	47.9	39.3	7.7	1.8	0.8	2.4
	52.5	28.8	10.2	3.4	-	5.1
	47.8	38.6	7.8	1.9	0.8	3.1
② 公共施設マネジメントの強化（中長期的な修繕計画に基づく施設の維持保全など区有施設等の長寿命化、牛込保健センター等複合施設の建て替え・旧都立市ヶ谷商業高等学校跡地の活用等区有施設のマネジメントなど）	32.3	44.5	16.1	3.5	0.8	2.9
	42.4	49.2	5.1	-	-	3.4
	32.6	44.7	15.4	3.2	0.8	3.3
〔基本政策Ⅴ 好感度1番の区役所〕						
① 行政サービスの向上（公金納付について電子マネー等による多様な決済手段を活用した電子納付の推進、マイナポータル・ぴったりサービス等を活用した電子申請等の推進など）	35.3	35.3	19.2	4.9	2.3	2.9
	57.6	28.8	5.1	3.4	-	5.1
	36.4	34.8	18.4	4.8	2.2	3.4
② 職員の能力開発、意識改革の推進（自治体DXを推進する人材育成、新宿自治創造研究所の運営による政策形成能力向上など）	32.3	44.2	14.5	4.4	1.6	3.1
	47.5	30.5	11.9	5.1	-	5.1
	32.9	43.2	14.3	4.4	1.5	3.6
③ 地方分権の推進（地方からの提案制度を活用した権限移譲の働きかけ、特別区長会や全国市長会等を通じた国への働きかけなど）	26.8	39.8	21.8	6.9	1.5	3.2
	39.0	25.4	20.3	8.5	1.7	5.1
	27.4	38.7	21.7	7.0	1.5	3.7

<図表 7-2> 5つの基本政策で定める個別施策（33施策）に対する重要度



(注) 図表左側の番号は、31～34ページの各基本政策内施策番号に準じている。

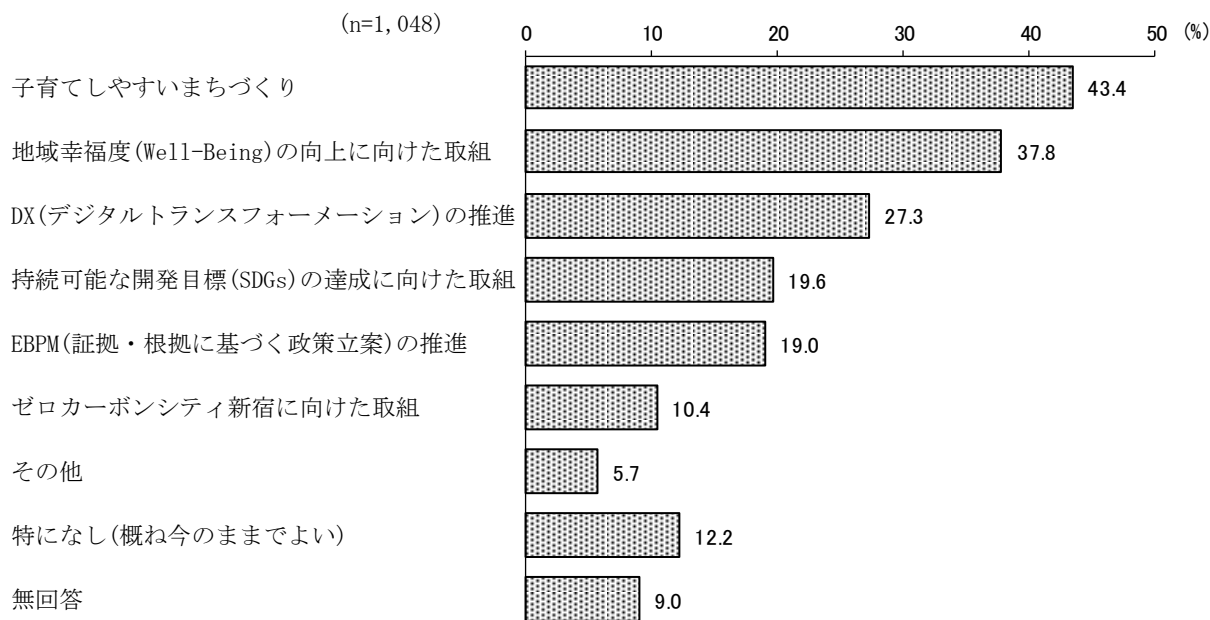
(3) 次期総合計画において新たに追加した方がよいと思う視点や要素

◇「子育てしやすいまちづくり」が4割台半ば近くで最も高く、「地域幸福度（Well-Being）の向上に向けた取組」が3割台半ばを超えて続く

問12 次期総合計画において新たに追加した方がよいと思う視点や要素などがありますか。(〇はいくつでも)

	日本国籍	外国籍	[全体]
n =	982	59	[1,048]
1 DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進	26.7 %	40.7	[27.3]
2 持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けた取組	19.8	18.6	[19.6]
3 EBPM（証拠・根拠に基づく政策立案）の推進	19.5	13.6	[19.0]
4 地域幸福度（Well-Being）の向上に向けた取組	37.7	42.4	[37.8]
5 ゼロカーボンシティ新宿に向けた取組	10.1	16.9	[10.4]
6 子育てしやすいまちづくり	43.6	44.1	[43.4]
7 その他	6.0	1.7	[5.7]
8 特になし（概ね今のままでよい）	12.2	13.6	[12.2]
（無回答）	8.4	10.2	[9.0]

<図表7-3> 次期総合計画において新たに追加した方がよいと思う視点や要素（複数回答）



8 区有施設のあり方

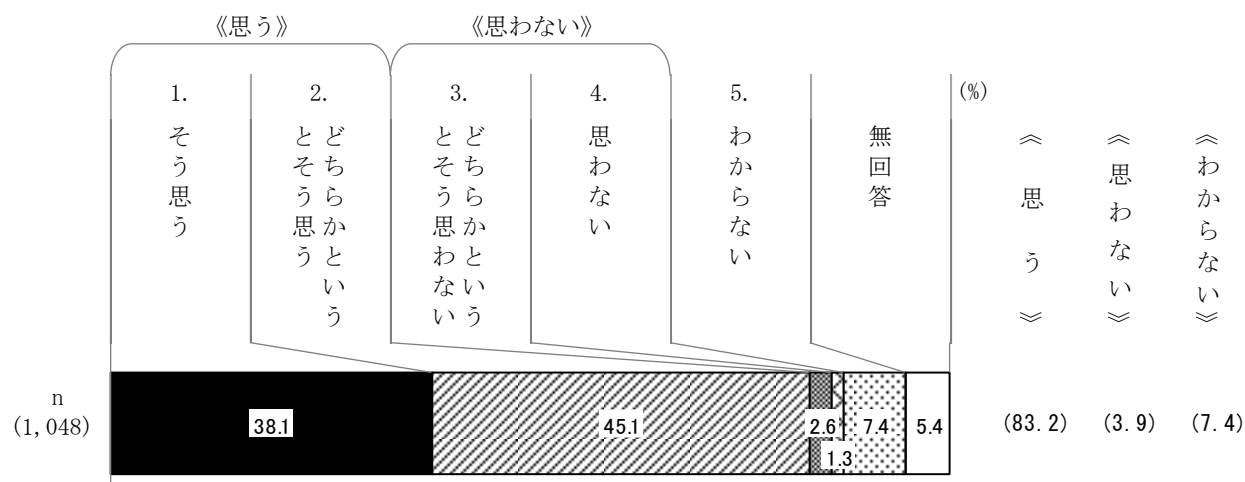
(1) 「公共施設等総合管理計画」を踏まえた取組を実現していくべきか

◇「思う」「どちらかというと思う」をあわせた《思う》が8割台半ば近く、「どちらかというと思わない」「思わない」をあわせた《思わない》が1割未満

問13 現行の「公共施設等総合管理計画」で定めた基本理念と各基本方針を踏まえた取組は実現していくべきと思いますか。(○は1つ)

	日本国籍	外国籍	[全体]
	n = 982	59	[1,048]
1 そう思う	38.5 %	35.6	[38.1]
2 どちらかというと思う	45.7	37.3	[45.1]
3 どちらかというと思わない	2.4	5.1	[2.6]
4 思わない	1.4	-	[1.3]
5 わからない	7.1	13.6	[7.4]
(無回答)	4.8	8.5	[5.4]

<図表8-1> 「公共施設等総合管理計画」を踏まえた取組を実現していくべきか



(注) 問13-1は自由記述のため速報版は非掲載。

(2) 統廃合や集約化などを行う基準として重視すべき点

◇「老朽化が著しいこと」が3割台半ばを超えて最も高く、「特定の個人・団体にしか利用されていないこと」が3割強で続く

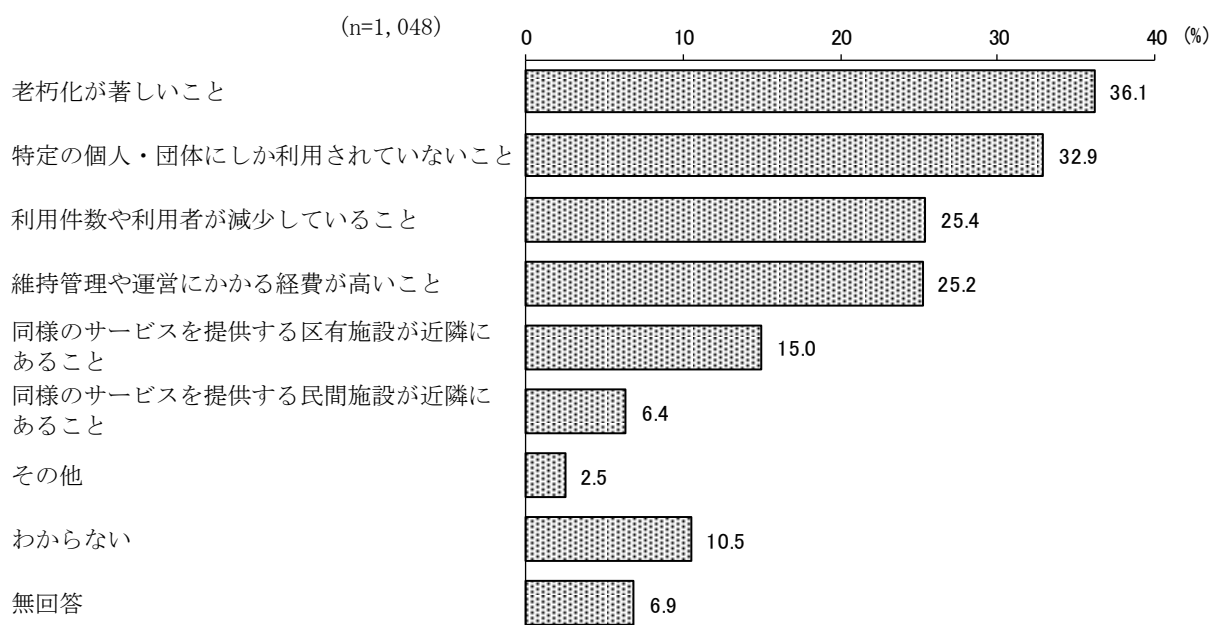
問14 全ての区有施設についておたずねします（各施設の種類の主な施設は同封の資料2の3ページをご確認ください）。

今後、複数の区有施設で提供しているサービスをひとつの施設にまとめる（統廃合や集約化など）とした場合の基準として、どのようなことを重視すべきだと思いますか。

（○は2つまで）

	日本国籍	外国籍	[全体]
n =	982	59	[1,048]
1 老朽化が著しいこと	36.5 %	32.2	[36.1]
2 利用件数や利用者が減少していること	25.7	23.7	[25.4]
3 特定の個人・団体にしか利用されていないこと	33.7	23.7	[32.9]
4 維持管理や運営にかかる経費が高いこと	25.8	16.9	[25.2]
5 同様のサービスを提供する区有施設が近隣にあること	15.5	6.8	[15.0]
6 同様のサービスを提供する民間施設が近隣にあること	6.2	8.5	[6.4]
7 その他	2.4	3.4	[2.5]
8 わからない	9.7	25.4	[10.5]
（無回答）	6.4	6.8	[6.9]

<図表8－2>統廃合や集約化などを行う基準として重視すべき点（複数回答）



(3) 施設の類型別取組の方向性

◇「利用者が少ない施設や、あまり利用されていない施設を廃止する」は、『⑦保養施設等』と『⑧その他の施設』が3割強

問15 基本方針の一つに、『「施設」から「サービス」へ発想を切り替える』を掲げ、全ての種類の施設に対して「施設」から「サービス」へ発想を切り替え、区民にとって必要な機能や公共サービスの確保の実現に向けて取り組んでいます。

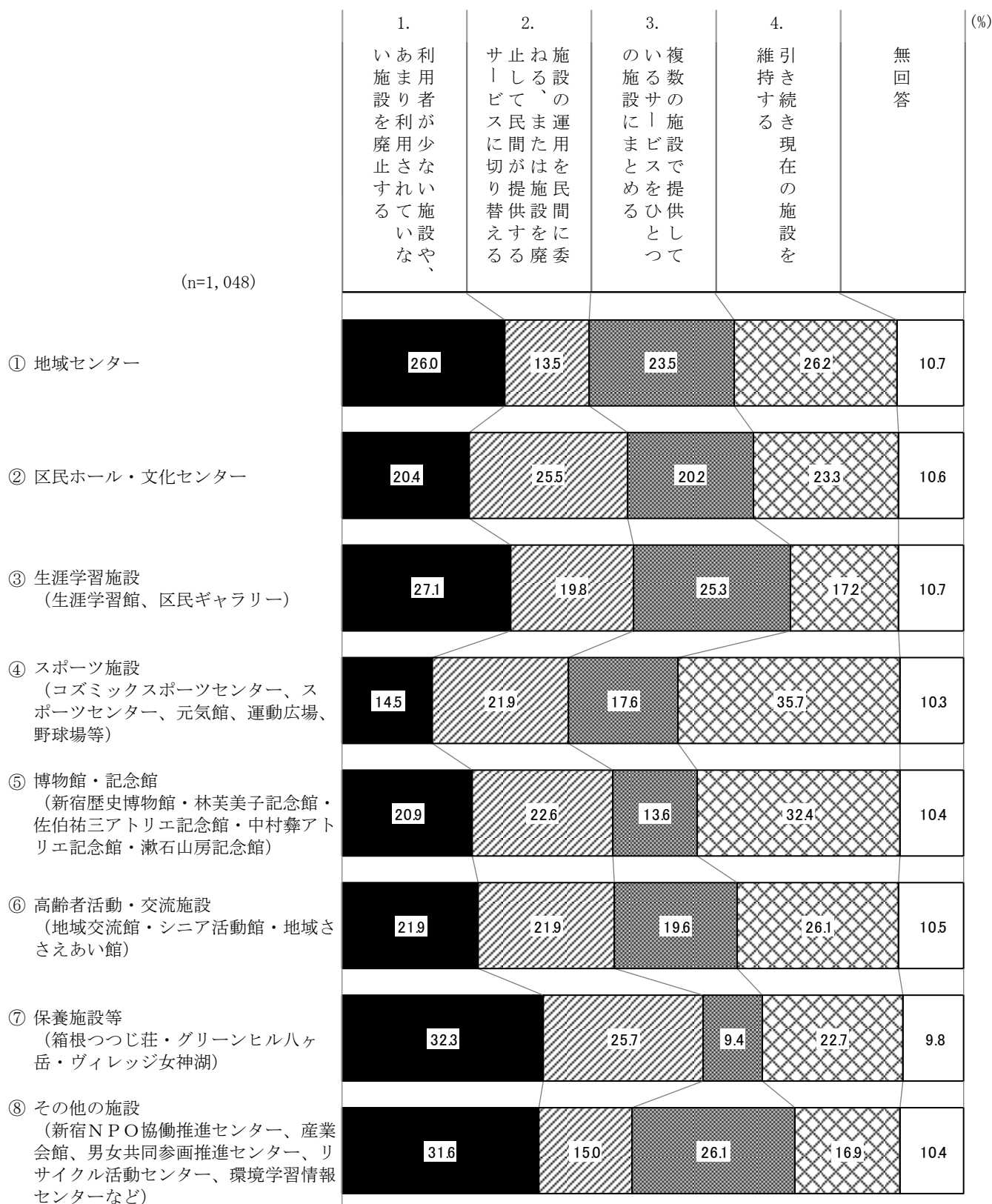
この取組の方向性について、施設の類型ごとに当てはまるものに○をつけてください。

(○はそれぞれ1つ)

※ここでは区有施設のうち、民間施設でも同様のサービスが提供されている施設や、区独自で区民の多様なニーズに応えるために設置している施設を主な対象として挙げています。

[表の見方] (%) 上段：日本国籍 (n= 982) 中段：外国籍 (n= 59) 下段：全体 (n=1,048)	1. 利用者が少ない施設や、 あまり利用されていない施設を 廃止する	2. 施設の運用を民間に委 ねる、または施設を廃止 して民間が提供するサ ービスに切り替える	3. 複数の施設で提供して いるサービスをひとつ の施設にまとめる	4. 引き続き現在の施設を 維持する	(無回答)
① 地域センター	26.4	13.7	23.8	25.9	10.2
	23.7	11.9	20.3	32.2	11.9
	26.0	13.5	23.5	26.2	10.7
② 区民ホール・文化センター	21.1	25.9	20.2	22.9	10.0
	11.9	22.0	22.0	30.5	13.6
	20.4	25.5	20.2	23.3	10.6
③ 生涯学習施設（生涯学習館、区民ギャラリー）	27.9	19.8	25.8	16.5	10.1
	16.9	22.0	18.6	28.8	13.6
	27.1	19.8	25.3	17.2	10.7
④ スポーツ施設（コズミックスポーツセンター、スポーツセンター、元気館、運動広場、野球場等）	14.8	22.2	17.8	35.4	9.8
	11.9	20.3	13.6	42.4	11.9
	14.5	21.9	17.6	35.7	10.3
⑤ 博物館・記念館（新宿歴史博物館・林芙美子記念館・佐伯祐三アトリエ記念館・中村彝アトリエ記念館・漱石山房記念館）	21.7	23.4	14.0	31.1	9.9
	8.5	11.9	10.2	57.6	11.9
	20.9	22.6	13.6	32.4	10.4
⑥ 高齢者活動・交流施設（地域交流館・シニア活動館・地域ささえあい館）	22.5	22.2	20.2	25.2	10.0
	13.6	20.3	10.2	44.1	11.9
	21.9	21.9	19.6	26.1	10.5
⑦ 保養施設等（箱根つつじ荘・グリーンヒル八ヶ岳・ヴィレッジ女神湖）	33.4	26.1	9.5	21.8	9.3
	18.6	20.3	10.2	39.0	11.9
	32.3	25.7	9.4	22.7	9.8
⑧ その他の施設（新宿NPO協働推進センター、産業会館、男女共同参画推進センター、リサイクル活動センター、環境学習情報センターなど）	32.4	15.4	26.7	15.7	9.9
	22.0	10.2	18.6	37.3	11.9
	31.6	15.0	26.1	16.9	10.4

＜図表 8－3＞施設の類型別取組の方向性



(3-1) 施設維持のための取組の方向性

◇「施設使用料等の引き上げを行い、現在の施設を維持する」は、『⑦保養施設等』が5割強で最も高く、『⑤博物館・記念館』と『④スポーツ施設』が約5割で続く

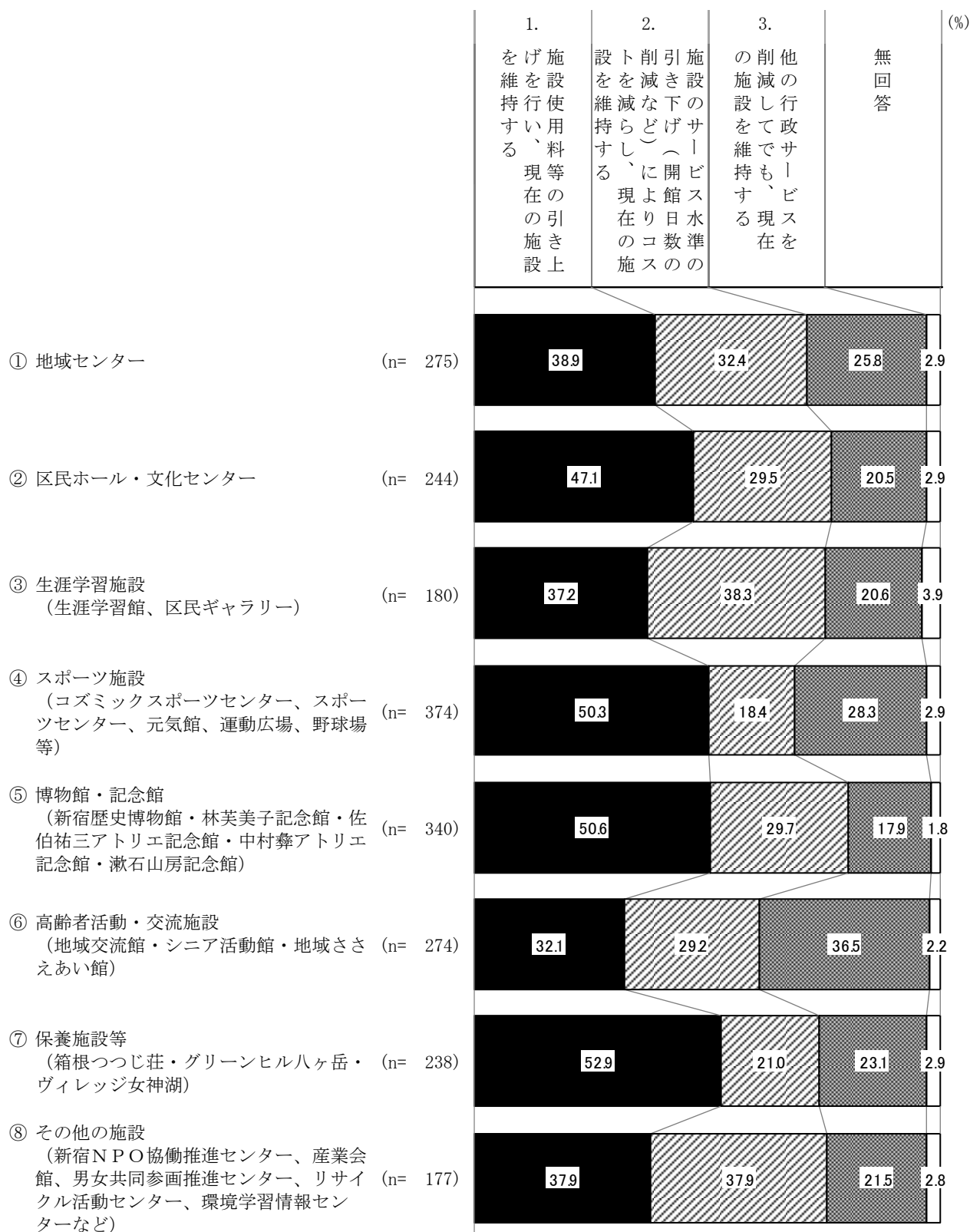
(問15で「4 引き続き現在の施設を維持する」と回答した施設毎におたずねします)

問15-1 基本方針の一つに、『効果的・効率的な施設・インフラ等の管理を実現する』を掲げ、公共施設を維持・管理する際には、これまで以上に、最少のコストで最大の効果をあげる工夫を進めています。この取組の方向性について、施設ごとに当てはまるものに○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

※ここでは区有施設のうち、民間施設でも同様のサービスが提供されている施設や、区独自で区民の多様なニーズに応えるために設置している施設を主な対象として挙げています。

[表の見方] (%) 上段：日本国籍 中段：外国籍 下段：全体	n	1. 施設使用料等の引き上げを行い、現在の施設を維持する	2. 施設のサービス水準の引き下げ（開館日数の削減など）によりコストを減らし、現在の施設を維持する	3. 他の行政サービスを削減しても、現在の施設を維持する	(無回答)
① 地域センター	254	37.8	32.3	26.8	3.1
	19	52.6	36.8	10.5	—
	275	38.9	32.4	25.8	2.9
② 区民ホール・文化センター	225	48.4	28.4	20.0	3.1
	18	33.3	44.4	22.2	—
	244	47.1	29.5	20.5	2.9
③ 生涯学習施設（生涯学習館、区民ギャラリー）	162	37.7	37.0	21.0	4.3
	17	35.3	47.1	17.6	—
	180	37.2	38.3	20.6	3.9
④ スポーツ施設（コズミックスポーツセンター、スポーツセンター、元気館、運動広場、野球場等）	348	50.0	17.8	29.0	3.2
	25	56.0	24.0	20.0	—
	374	50.3	18.4	28.3	2.9
⑤ 博物館・記念館（新宿歴史博物館・林芙美子記念館・佐伯祐三アトリエ記念館・中村彝アトリエ記念館・漱石山房記念館）	305	49.5	30.5	18.0	2.0
	34	58.8	23.5	17.6	—
	340	50.6	29.7	17.9	1.8
⑥ 高齢者活動・交流施設（地域交流館・シニア活動館・地域ささえあい館）	247	31.6	30.0	36.0	2.4
	26	38.5	23.1	38.5	—
	274	32.1	29.2	36.5	2.2
⑦ 保養施設等（箱根つつじ荘・グリーンヒルハヶ岳・ヴィレッジ女神湖）	214	53.7	18.2	24.8	3.3
	23	47.8	43.5	8.7	—
	238	52.9	21.0	23.1	2.9
⑧ その他の施設（新宿NPO協働推進センター、産業会館、男女共同参画推進センター、リサイクル活動センター、環境学習情報センターなど）	154	37.7	38.3	20.8	3.2
	22	40.9	31.8	27.3	—
	177	37.9	37.9	21.5	2.8

<図表 8－4> 施設維持のための取組の方向性



(注) 問16は自由記述のため速報版は非掲載。

この刊行物は、業者委託により、120部印刷製本しています。その経費として1部あたり990円（税込み）がかかっています。ただし、編集時の職員人件費や配送費等は含んでいません。

令和7年度 新宿区区民意識調査（速報版）

2025年（令和7年）9月発行

刊行物作成番号
2025-09-2106

【発行】 新宿区 総合政策部 区政情報課 広聴係
〒160-8484 新宿区歌舞伎町1丁目4番1号
☎ 03（5273）4065（直通）

【実施】 株式会社 アダムスコミュニケーション
〒168-0074 東京都杉並区上高井戸1丁目8番17号
ブライトコアビル新館6階
☎ 03（6847）5757

●この冊子は、地球環境保全推進のため、再生紙を使用しています。